福知山市 今和4年唐事務事業評価シート

	~ ~	7 -1	1 12 1	1 40 1	4.	9		•						(単位:	千円)
- 事業属性	•														
事業名	玄武岩公園	管理事業									事	業コード 2	230206		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	らりが、時代の変化	化を先取りし、地	域産業の	発展に	貢献できるま	ち	政策目	標 2	DXを生た	かした商業	美・サービス	X業の活性(化
ACAT IT ALL	施策名	2 市の特質を路	沓まえたキラリとう	光る観光戦略の排	隹進						施统	策コード 8	322		
事業担当	所属	02090000 地域技	振興部 夜久野支	を所					所属县	中	島 美香				
会計情報	款)2 総務費	項 01 総	務管理費	目	11 ±	也域交流推进		会計	01 —	·般会計	決算付属	属資料	84	頁
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和8年度	関連計	画名	_					R4期	見在の状況	継続	中
根拠法令等	福知山市や	くの玄武岩公園	条例												
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業 [□ 内部	陈務的事業	€ □ その)他	()
関連事業															
事業基礎情	 報														
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)		文化財(天然記念物)に指定され、京都府景観資産にも登録されている「やくの玄武岩公園」を、夜久野地域における観光施設のひとつとして適正に維持により、夜久野地域への観光客及び交流人口の増加を図る。													
対象者	観光客及び	市民				3	付象者数	76,5	548	È	単位あたり	Jコスト		0.0	
実施方法	□ 直接実	施 🛭 業和	务委託 □	指定管理	□ 補助:	金交付		その他	()
委託先•実施主体等	小倉幸福会														
事業概要 (箇条書き)	・清掃業務 ・人工滝の道	岩公園の清掃業 14~17日/月 重転 365日/年 アップ 365日/年	務委託、人工滝 <i>0</i> :	D運転や夜間ライ	'トアップ等	F、設備	の維持運営	等にかかる糸	圣費。						
	支出に係	系る主な費目	支出実績(R3	3)				主力	な業務内	容					
	委託料			361 やくの玄武岩	岩公園清 掃	帚等業務	务								
主な支出に係る	需用費			358 電気・水道作	t										
業務内容と経費	使用料及び	賃借料		30 案内看板用	地賃借料										
	役務費			2 建物総合損	害共済に	かかる	共済分担金								
			l												

Ⅲ 予算執行状況

	Σ	3 分 3 分 3		R2(評価前	前年度)			R3(評価年	度)		R4(本年原	隻)	R5(事	要求年度)	
	1	当初予算				908			895			1,695			1,226
予	2	補正予算				0			0			0			0
予算情報	3	繰越予算				0			0			0			0
報		前年度繰越				0			0			0			0
		次年度繰越				0			0			0			0
	小計	†(1)~ (3)				908			895			1,695			1,226
予		一般財源				908			895			1,695			1,226
算 財源 内		国支出金				0			0			0			0
源		府支出金				0			0			0			0
内訳		地方債				0			0			0			0
		その他特財				0			0			0			0
決		流充用額				Δ 5			△ 115						
決算情報	_	配当予算				903			780						
報	_	執行額				891			751						
		執行率				98.7%			96.3%						
人概	(I	従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.15	/		0.00	0.19	/	0.05	0.19	/	0.05	0.00		0.00
上界	2	概算人件費				1,200			1,645			1,645			0
卜- (予:	— 算執行	タルコスト 行額+概算人件費)				2,091			2,396			1,645			0
	ــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	- T-1 FT 4+ D-1		` <u> </u>											
(N	王な	よ利用特財 年度実績値)	特財名称					種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム) 実績/目標	想定見込来場者	ó 数	千人	126	/	159	90	/	159	49	/	90	/	90	82
天模/日保	苦情・クレーム作	‡数	件	0	/	0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	公園内清掃		□	12	/	12	12	/	12	12	/	12	/	12	12
活動実績(アウトプット)		単位あたり	スト		64.3			74.3			62.6				
実績/計画					/		1	/			/		/		玄武岩公園管理事業
		単位あたりコ	コスト			•									

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	やくの玄武岩公園は、旧夜久野町が観光施設のひとつとして民間の土地を無償で借り上げて整備した公園であり、市へ土地の無償譲渡を受けることで、令和2年度に市有地となったことから、適正に管理するため、令和3年度に公園条例を制定した。 将来にわたって適正に管理する必要がある。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	公園の清掃業務については、入札で地元の団体が受託し実施している。また、地元公民館のボランティア活動によっても清掃が行われている。	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	やくの玄武岩公園への来客数をカウント出来ないため有効性の分析が困難である。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	であり、過去にはロケ地になったり、旅番組で紹介 今後も様々な手法によりPRを行っていく必要がも 玄武岩の柱状節理、板状節理の景観を保つため	、周辺の樹木の計画的な整備が必要である。 理に加え滝があることにより、映画のロケ地となった。	立ち寄りポイントのひと
改善策	条例に位置付けた公園として将来に向けて適正が	管理を続けるとともに、地域の観光資源として活用できるよう、関係機関とも連携しながら情態	服発信をしていく。
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)		

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
10 At 200 A	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	令和2年度の玄武岩公園用地整理事業において取得が完了し、令和3年度に公園条例を制定した。 観光資源として適正管理を続ける。
7 37 30 33 51	☑ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	☑ 予算縮減			
了异众吹帽木	□ 他事業を統合	(統合事業名: —		□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

事業名	農匠の郷や	くの施設管理運	営事業									事業コ	ード	230219		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りが、ほ	時代の変化	とを先取りし、地	域産	業の発展に	貢献できるまち		政策目標	2 DX	を生かし	た商業	業・サービス	ス業の活	生化
以来评求	施策名	2 市の特質を踏	沓まえた	たキラリとみ	光る観光戦略の	推進					•	施策コ	ード	822		
事業担当	所属	02090000 地域技	長興部	夜久野支	所					所属長	中島 美	美香				
会計情報	款(02 総務費	項	01 総	務管理費	目	11 ±	也域交流推進費		会計	01 一般会	:計 決	算付加	属資料	84	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終了	予定年度	令和8年度	関	連計画名	_		•		•	R4	現在の状況	! 継:	続中
根拠法令等	福知山市フ	ァームガーデンヤ	くの条	例												
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補	甫助事業	☑ 市単独	事業	□ 内部	『庶務的事業	□ その)他 ()
関連事業	夜久野高原	・道の駅支援事業	<u>業、夜ク</u>	久野町化石	·郷土資料館運	営事	<u>業</u>									

重要其啉层积

尹耒荃從頂	秋										
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	都市と農村の交流拠点として	整備し、夜久野高原	を中心とした観光の拠点	施設となる「農匠	[の郷やくの]を適切に管	理運営していく。					
対象者	観光客及び市民			対象者数	76,548	単位あたりコスト	0.5				
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	E管理 □ 補助金	交付 ☑	その他(工事・修繕	善等)			
委託先·実施主体等	(株)クリア、公正産業(株) 、(社)福知山市シルバ-	一人材センター 、アムス・	セキュリティサー	ビス(株) 、(株)サムソン	神戸営業所 ほか					
事業概要 (箇条書き)	令和3年3月31日で指定管 直営管理・・・夜久野荘、ほっ 民間貸付・・・やくの花あずき 公設民営・・・やくの高原市	こり館、やくの一道権					をしながら検討)				
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	需用費	13,270	電気·水道代、施設修繕	料、消耗品費							
主な支出に係る	委託料	9,944	維持管理業務(機械設備	i等保守業務、除	草業務、機械警備業務に	まか)					
業務内容と経費	役務費	883	手数料、保険料								
	使用料及び賃借料	用料及び賃借料 159 土地賃借料(案内看板用)									
	負担金補助及び交付金	56	道の駅年会費等								

Ⅲ 予算執行状況

		区 分		R2(評価前年度)			R3(評価年	度)		R4(本年原	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			65,066			19,352			29,236			128,640
予	2	補正予算			1,160			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			
報		前年度繰越		0				0			0			C
		次年度繰越			0			0			0			C
	小	+ (1~3)			66,226			19,352			29,236			128,640
予	1	一般財源			9,093			13,276			25,168			21,439
第	2	国支出金			0			0			0			C
算財源	3	府支出金			0			0			0			C
内	4	地方債			0			0			0			95,600
訳	(5)	その他特財			57,133			6,076			4,068			11,601
čh.	1	流充用額			1,663			4,960						
算	2	配当予算			67,889			24,312						
決算情報	3	執行額			67,889			24,312						
ти		執行率			100.0%			100.0%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動嚷託職員)	1.48	/	0.05	1.19	/	0.53	1.19	/	0.53	0.00	/ 0	.00
工算	2	概算人件費			11,965			10,845			10,845			C
		タルコスト 行額+概算人件費)			79,854			35,157			10,845			C
		4. T.I 57.4± 0.1		花あずき館貸付	寸収入	·		財産貸付収入	•		61	0	32	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	地域振興施設線	維持補修基金繰	基金繰入金			実績金額 1			6 決算付属資料	38	頁
				農匠の郷やくの)施設管理運営署	事業負担金		雑入	3,			5	48	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	指定管理施設和]用者数	人	67503	/	82295	40031	/	82295	-	/	76584	/	-	82295
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	維持管理経費		千円	69473	/	64994	67889	/	65066	24312	/	19352	/	29236	_
(アウトプット)		単位あたり〓	スト		_			_			_				
実績/計画	指定管理料		千円	42918	/	43316	42918	/	43132	0	/	0	農佐の	郷やく	の施設管理運営事業
		単位あたり〓	コスト		-			_			·				

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	平成14年に登録された道の駅「農匠の郷やくの」は、夜久野地域おける農村都市交流の 事業か 拠点施設であり、当初より継続して運営管理している必要な事業である。 令和3年3月末でメインの施設が休館しており、休館施設の早期再開に向けて関係機関等	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施するこのできない事業か	と協議を進めている。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	数千万円の指定管理料がかかっていたことから、指定管理を終了し、民間事業者による 運営ができないか、調査・検討している。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切! 把握・測定されているか	で	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	メインの施設が休館していることで目標が不達成となっており、施設の早期再開が目標となっている。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	‡	
	最小限の維持管理は行っているが、そ	了しており、大半の施設が休館している。 の期間が長引くほど施設には悪影響を及ぼす。 運営形態となるよう早期に活用事業者を決定する必要がある。	
	氏间争未有の経営アプバラを沿かした	連呂形態Cはるより平朔に冶川事未有を次たりる必安かのる。	
定性的な面も 含めた自己評価 みな現状の課題			
及び現状の課題			
		こ向け、整理、処理しなければならない課題を早期に解決し、施設の活用を決定することが事業の改善 らし、成果目標は「指定管理施設利用者数」ではなく「施設利用者数」と変更することとする。	策である。
	よに、7 図の丹所に同じたが同日と無	りし、水木口味は、日本日本地以刊の日数」とはない。地図では日数」と文文することです。	
7L ** A**			
改善策			
VI 二次評価(3	事業所属外による他部署評	価)	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
 VII 評価をふまえ	」 こた次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in at an e	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	活用事業者を決定するために、サウンディング型市場調査、トライアル・サウンディングを実施した。その結果を踏まえた募集を 行い、早期に施設の再開を目指す。施設の再開するまでの間、使用されていない施設の維持管理を行う。
1 31 × 47/151	☑ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	口 予算拡充	☑ 予算縮減	
了异众吹和木	□ 他事業を統合	(統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

(単位:千円)

ı	爭業属性																		
	事業名	宝山公園等	管理事業											事業コ	ー	230260			
	政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りか	、時代の変化	化を先取りし、地	域	産業の発展に	貢献できるまち		政策目	標	2 DXを	生かし	た商	業・サート	ごス業	の活性化	
	以来许尔	施策名	2 市の特質を踏	当ま	えたキラリとざ	代る観光戦略の持	ŧί	進						施策コ	ード	822			
	事業担当	所属	02090000 地域技	長興	部 夜久野支	所					所属县	Ę	中島 美	香					
	会計情報	款	02 総務費	項	01 総	務管理費	E	11:	地域交流推進費	Ì	会計	01	一般会詞	† 決	算付.	属資料		86	頁
	計画期間	開始年度	平成18年度	終	了予定年度	令和8年度		関連計画名	_						R4	現在の状	況	継続中	
1	根拠法令等	「夜久野高」	京金浦公衆便所 <i>(</i>	の設	置及び管理に	こ関する協定書」	及	び「覚書」(相=	手側:朝来市長))									
	事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国月	存補助事業	☑ 市単独	事:	業 口 内部	『庶務的事業	□ そ0	D他	()
	関連事業																		
П	事業基礎情	報																	
	事業目的 策実現に向けて	夜久野地域	における観光拠	点で	ある宝山公園	園と夜久野高原る	5 †.	つやかトイレを迫	箇正に維持管理	する。									
	が果たす役割)																		

李未本獎 1	TIA.												
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	夜久野地域における観光拠	点である宝山公園と	友久野高原さわやかトイレ	νを適正に維持管	き理する。								
対象者	観光客及び市民			対象者数	76,548	単位あたりコスト	0.0						
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	≦管理 □ 補助金3	交付 ☑	その他 (朝来市への	負担金)					
委託先•実施主体等	あしだ土木												
	・公園内の剪定及び除草、ト	・園維持管理業務の実施及び夜久野高原さわやかトイレ維持管理負担金の支払いによる維持管理。 内の剪定及び除草、トイレ清掃業務の委託。 市と共同設置した「さわやかトイレ(夜久野高原)」の維持管理経費(1/2)の負担。											
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容								
	委託料	968	宝山公園清掃等業務										
エゆス田に味る	負担金補助及び交付金 269 夜久野高原さわやかトイレ維持管理経費負担金												
業務内容と経費	使用料及び賃借料	42	宝山公園土地賃借料										
1	需用費	34	電気・水道代										
i	役務費	7 手数料、建物総合損害共済にかかる共済分担金											

Ⅲ 予算執行状況

		区分		R2(評価前年	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			1,445			1,416			1,416			2,625
予	2	補正予算			0			0			0			0
予算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	t(1)~3)			1,445			1,416			1,416			2,625
予	1	一般財源			1,221			1,192			1,192			2,412
算		国支出金			0			0			0			0
算財源内		府支出金			224			224			224			213
内訳	_	地方債			0			0			0			0
D/\	_	その他特財			0			0			0			0
決	-	流充用額			128			△ 95						
決算情報	-	配当予算			1,573			1,321						
報	-	執行額			1,572			1,320						
		執行率			99.9%			99.9%						
人概	_	従事職員数 (正職員 / 非常動嘱託職員)	0.04	/	0.10	0.09	/	0.10	0.09	/	0.10	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			570			970			970			0
		タルコスト _{行額+概算人件費)}			2,142			2,290			970			0
	. ,			宝山公園等管	理事業(きょうと地域	連携交付金)		総務費府補助金	:		11	2	24	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	特財名称			種類			実績金額		決算付属資料		頁
	1 年及天順 恒 /	一十尺大帜胆/												

成里宝籍	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	苦情件数		件	0	/	0	0	/	0	2	/	0	/	0	0
天模/日保					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	清掃回数		回	310	/	310	310	/	310	310	/	310	/	310	310
活動実績(アウトプット)		単位あたり	コスト		4.5			5.1			4.3				
実績/計画				/		5 /			/		/		宝山公園等管理事業		
		単位あたり	コスト												

□ 廃止/休止 ☑ 事業の見直しなし

□ 廃止/休止

(統合事業名:

□ 現状維持

□ 他事業を統合

VII 予算反映結果

予算反映結果

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事	宝山は京都府唯一の火山で知られており、観光拠点の維持管理事業として必要である。 事業か また、宝山には夜久野ハ十八か所石仏群が存在しており、その関係団体と協力して維持 管理することも必要である。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することできない事業か		
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	事業費は、公園内の剪定及び除草、トイレ清掃業務の委託料、「さわやかトイレ(夜久野高原)」の負担金等、必要最小限の経費であり、年間を通じての維持管理として適正である。	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	全山者数の把握が困難であることから、現状の取り組みでどこまで市民等のニーズに応えられているかが不明。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	訪れる方の人数把握は、入山ルートが初	「ることにより、観光地としてのイメージアップにつなげていくことが必要である。 复数あること、利用時間帯が主に早朝であることなどで難しい。 の改善の声を聞いており、公園を今後どこまで整備するのかを検討する必要がある。	
	玉田作来追の霊禰亚のに公園内トイレの	かい音の声を頂いてのり、公園をす後とこまで定鵬りるのかを快削りる必安がめる。	
定性的な面も 含めた自己評価			
及び現状の課題			
	市の施設の適正な維持管理を行うため、性と合わせて検討していく。	、事業を継続するとともに、地域の観光資源として活用できるよう朝来市とも連携し、「農匠の郷やくの」	」の新たな活用の方
	昨年度お試し利用をしたKDDIの位置情	情報データ分析ツールを恒常的な利用等入込客数を把握する手段として市全体で入込客数を把握する 会や朝来市とも連携しながら検討していく。	ことが必要である。
		女で初木中と0年150年170次的していい。	
改善策			
/ 二次評価(事業所属外による他部署評価	赿)	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
	こた次年度事業方針	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
	えた次年度事業方針 方針区分	事業評価実施後に記載(対象事業のみ) 「関係を発生者がある。 「関係を発生者がある。 「関係を発生者がある。 「関係を発生者がある。 「関係を発生者がある。 「関係を発生者がある。 「関係を発生者がある。」 「関係を発生者がある。」 「関係を発生者がある。 「関係を発生者がある。」 「関係を発生者がある。」 「対象を発生者がある。」 「対象を表する、表述を表する。」 「対象を表する、表述を表する、表述を表する。」 「対象を表する、表述を表する、表述を表する。」 「対象を表する、表述を表する。」 「対象を表する、表述を表する、表述を表する。」 「対象を表する、表述を表する、表述を表する。」 「対象を表する、表述を表する。」 「対象を表する、表述を表する、表述を表する。ままる。ままる。ままる。ままる。ままる。ままる。ままる。ままる。ままる。ま	
川 評価をふまれ	1		
	方針区分 □ 事業の見直し □ 統合/組換	評価を踏まえた見直し内容	
V∥ 評価をふまぇ 担当課の	方針区分 □ 事業の見直し □ 統合/組換		この方向性を探ろ

☑ 予算拡充

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合

(統合先事業名: —

(単位:千円)

事業属性																
事業名	大雲記念館	等管理事業									事	業コード	230207			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	とりが、時代の変化	上を先取りし、地	域産	業の発展に	貢献できる。	まち	政策目	標 2	DXを生た	いした西	あ業・サービ	こ業の	活性化	
以束件糸	施策名	2 市の特質を置	踏まえたキラリと光	光る観光戦略の	推進					•	施领	策コード	822			
事業担当	所属	02100000 地域	振興部 大江支所	÷					所属县	長神	内 明宏					
会計情報	款	02 総務費	項 01 総	務管理費	目	11	地域交流推:	進費	会計	01 -	-般会計	決算化	付属資料	84	4	頁
計画期間	開始年度	平成17年度	終了予定年度	令和8年度	具	連計画名						R	4現在の状	兄	継続中	
根拠法令等					•							·				
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業	口内部	部庶務的事業	業 □ そσ.	D他	()
関連事業																
事業基礎情	 報															
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	あしぎぬ大	雲の里の施設で	ある「大雲塾舎、兒	息力亭」、「京都 府	存指:	定有形文化!	財の大雲記簿	念館」を市直営	営により证	適正な	管理運営を	を行い、	施設活用	の促進を	を図る。	
対象者	来訪者(観)	光客等)					対象者数	10,3	362		単位あたり	コスト		1.7		
実施方法	☑ 直接実	施 □ 業利	%委託 ☑	指定管理		補助金交付		その他	()
委託先 実施主体等	大江観光㈱)														
事業概要 (箇条書き)			る大雲塾舎、鬼力による施設運営。	亭及び大雲記念	念館(の管理運営ロ	に係る経費。									
	支出に係	系る主な費目	支出実績(R3))				主	な業務内	容						
	役務費			55 建物損害共	済傷	R 険料										
主な支出に係る	委託料		10,6	656 指定管理業	務委	き託料										
業務内容と経費	使用料及び			58 大雲記念館	借地	也料、研修室	借上料									
	備品購入費	,	2	253 その他機械	器具	等(自動体	外式除細動器	器)購入								

|| 予算執行状況

補償、補填及び賠償金

	ı	区分		R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	E)	R5(要:	求年度)	
	1) 当初予算			10,861			11,115			6,611			5,162
予	2) 補正予算			1,482			2,936			0			0
算情報	3)繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			C
		次年度繰越			0			0			0			C
	小	計(① ~ ③)			12,343			14,051			6,611			5,162
予	1	一般財源			1,552			3,260			6,426			5,027
算財源	2	国支出金			0			0			0			C
源	3	府支出金			0		0				0			C
内訳	4	地方債			0		0				0			C
76	(5)	その他特財			10,791			10,791			185			135
ж	1	流充用額			0			8						
算	2	配当予算			12,343			14,059						
決算情報	3	執行額			12,242		13,958							
) 執行率			99.2%			99.3%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動螺託職員)	0.32	/	0.00	0.40	/	0.00	0.40	/	0.00	0.00	/ 0	.00
工算	2) 概算人件費			2,560			3,200			3,200			0
		タルコスト (行額+概算人件費)		14,802			17,15				3,200	200		
		t extended		大雲記念館貸付収入								5	32	
(N	1一 王	な利用特財 1年度実績値)	特財名称	大雲記念館等管理事業基金繰入			繰入 種類 基金繰入金			実績金額 10			38	頁

2,936 不可抗力により発生した費用等の支援

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	施設利用者数		人	20618	/	24700	10877	/	24700	10362	/	24700	/	24700	24700
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	企画経営会議			12	/	12	12	/	12	12	/	12	/	12	12
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	スト		972.1			1020.2			1163.2				
実績/計画					/		7	/			/		/	大	雲記念館等管理事業
		単位あたり〓	コスト												

V 一次評価	6(事業担当所属内による自己評句		
項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業が ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、	・由良川を観光資源とする由良川流域の拠点施設として整備した市施設を指定管理者制 たまり、民間ノウハウを生かす運営を行っており、市の関与は高い事業である。 ・地域振興拠点施設として、また、地域の会議研修等に活用されるなど地域振興に寄与する施設として運営しているが、コロナ禍の影響により、利用が低迷している。	- - -
	優先度の高い事業か	・市施設を指定管理者制度により、民間運営を行い、大江観光株式会社が指定管理者と	☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	がい。成と行に目はも制度により、氏前連名と行い、人は戦光体式会社が行に目は名となり、民間が持つ、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫により運営の効率化を行う。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・施設利用者数は、コロナ禍の影響により、研修等また飲食利用が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 ・施設運営においては、地域振興拠点としての施設の存在が地域の衰退を防ぐための施設は大田の地は大田の地は大田の地は大田の地は大田の地は大田の地は大田の地は大田の地	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	設として周辺地域市民の拠りどころとなっている。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		と比較し、民間の経営ノウハウの活用により、迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用 え施設運営のあり方についての検討が必要とされる。	の創出等に有効であっ
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題			
		報告を受け、また、施設利用の状況も鑑み、令和4年度からは指定管理を外し、新たな施設活用の に資する施設の新たな有効活用策の確立を目指し、活用の検討を進める。	のあり方が定まるまでの
改善策			
	6(事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふ	まえた次年度事業方針		
	方針区分 □ 事業の見直し	評価を踏まえた見直し内容	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止 ☑ 事業の見直しなし		
//// 又曾与 n	h At B		
VⅢ 予算反明	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 ☑ 予算縮減	
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)
	·		

(単位:千円)

事業	美属性																	
事業	名	大江山鬼瓦	工房等管理事業										事	業コード	230210			
政策位	+	基本政策	8 市民一人ひと	りか	、時代の変化	化を先取りし、地域	或産	業の発展に	貢献できる。	まち	政策目	標 2	2 DXを生z	かした商	業・サー	ビス業の活′	性化	
以東7	平 來	施策名	2 市の特質を路	ま :	えたキラリとジ	光る観光戦略の推	推進					·	施	策コード	822			
事業担	担当	所属	02100000 地域振	興	部 大江支所	f					所属县	長	申内 明宏		•			
会計作	青報	款	02 総務費	項	01 総	務管理費	目	11	地域交流推	進費	会計	01 -	一般会計	決算付	甘属資料	84		頁
計画期	朝間	開始年度	平成17年度	終	了予定年度	令和8年度	艮	製連計画名						R4	4現在の状	:況 継	続中	
根拠法	令等																	
事業四	区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府	 有補助事業	☑ 市単独	事業	口内	部庶務的事業	単 口 その)他	()
関連導	事業														,			
事業	美基礎情	報																
事業 [(施策実現! 事業が果た	に向けて		章子の里の施設 2的及び自然的資															
対象	者	来訪者(観	光客等)						対象者数	2,0	24		単位あたり	リコスト		8.0		
実施プ	方法	☑ 直接実	施 🛭 業務	委	∄ 🗵	指定管理		補助金交付	t 🗆	その他	()
委託先·実施	施主体等	大江観光㈱)															
			童子の里施設で より大江観光(株)に				バンフ	ガロ一等の管	管理運営に係	る経費。								

主な支出に係る 業務内容と経費

事業概要 (箇条書き)

支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容
役務費	38	建物損害共済保険料
委託料	7,759	指定管理業務委託料、 酒呑童子の里連絡道等除草業務
使用料及び賃借料	400	酒吞童子の里施設等借地料
備品購入費	253	その他機械器具等(自動体外式除細動器) 購入
補償、補填及び賠償金	4,589	不可抗力により発生した費用等の支援

|| 予算執行状況

	į	区 分		R2(評価前:	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	隻)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			17,551			8,673			1,705			2,104
予	2	補正予算			2,208			4,590			0			C
算情報	3	繰越予算			0			0			0			C
報		前年度繰越			0			0			0			C
		次年度繰越			0			0			0			C
	小	計(① ~ ③)			19,759			13,263			1,705			2,104
予	1	一般財源			5,019			5,523			1,045			948
算財源	2	国支出金			0			0			0			C
源		府支出金			0			0			0			C
内訳	_	地方債			0			0			0			(
- N	(5)	その他特財			14,740			7,740			660			1,156
*		流充用額			△ 525			0						
算	2	配当予算			19,234			13,263						
決算情報	3	執行額			19,172			13,040						
		執行率			99.7%			98.3%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動嚷託職員)	0.35	/	0.00	0.40	/	0.00	0.40	/	0.00	0.00	/ 0	.00
工算	2	概算人件費			2,800			3,200			3,200			C
卜 ·	算執	タルコスト 行額+概算人件費)			21,972			16,240			3,200			C
				大江山鬼瓦	工房等管理事業基	金繰入		基金繰入金			7,6	34	38	
(N		な利用特財 1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	施設利用者数		人	5449	/	10000	2269	/	10000	2024	/	10000	/	10000	10000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	企画経営会議		回	12	/	12	12	/	12	12	/	12	/	12	12
活動実績(アウトプット)		単位あたり	スト		845.5			1597.7			1086.7				
実績/計画					/		9	/			/		/	大江山	鬼瓦工房等管理事業
		単位あたりコ	コスト												

項	目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必引	要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	・国定公園丹後天橋立大江山のエリア内に位置し、都市部からの誘客、また、市民のレクリエーション等地域活性化の拠点施設として整備した市施設であり、当施設を指定管理者制度により、民間ノウハウを生かす運営を行っており、市の関与は高い事業である。・大江山の自然環境を生かし、学生等のスポーツ合宿を中心に都市住民の受け入れの拠点施設として、また、市民のレクリエーション施設として、地域振興に寄与する施設として運営しているが、コロナ禍の影響を受け、利用が低迷している。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・市施設を指定管理者制度により、民間運営を行い、大江観光株式会社が指定管理者となり、民間が持つ、経営力、企画力、接客サービス等のノウハウを活用することで、創意工夫により運営の効率化を行う。	□ やや高い
勃星	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・施設利用者数は、コロナ禍の影響により、学生等の団体利用、また、大江山エリアへの 来訪者が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 ・本施設は、大江山、鬼伝説エリアに位置していることから、同エリアにおける市事業との	
有,	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	連携を進めることにより、成果達成を目指す。	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
含めた目	的な面も 自己評価 伏の課題			
	善策	たな施設管理の検討を行い、令和4年度以降は	を受け、指定管理から貸付での管理を検討するため、指定期間を令和4年3月31日まで2年、貸付また委託により、更に民間の特性を活かした管理運営を目指す。	延長した。この間に、業
VI =:	次評価(3	事業所属外による他部署評価)		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	・次年度においては、運営の主軸となる宿泊飲食施設の民間貸付けによる、更なる民間の効果効率的な柔軟な運営、また、市
1 37 5, 47,75	☑ 事業の見直しなし	事業の鬼文化PR事業等の展開によるエリアへの誘客など、官民連携した取組により、利用促進を図る。

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	☑ 予算拡充		□ 予算縮減			
了异众吹和朱	□ 他事業を統合	(統合事業名: —)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

(単位:千円)

ı	争耒偶性						和紙伝承館管理事業 事業コード 230211												
	事業名	和紙伝承館	管理事業			,						事	業コード	230211					
	政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りか	、時代の変化	化を先取りし、地	域』	産業の発展に	 貢献できるまち	政策目	標 2 D	Xを生た	かした商	業・サート	ビス業の活情	生化			
	以来许尔	施策名	2 市の特質を設	沓ま:	えたキラリとシ	光る観光戦略の排	准進	<u> </u>		•		施领	策コード	822					
	事業担当	所属	02100000 地域技	振興	部 大江支所	f				所属县	神内	明宏							
	会計情報	款 02 総務費 項 01 総務管理費 目 11 地域交流推進費 会計 01											決算付	大属資料	84		頁		
	計画期間	開始年度	平成17年度	終	了予定年度	令和8年度	ı	関連計画名					R4	4現在の状	況 継糸	続中			
*	根拠法令等										,								
	事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国和	莳補助事業	☑ 市単独	事訓	業 □ 内部	部庶務的事業 口 その	つ他	()		
	関連事業																		
Ш	事業基礎情	報																	
,,,			宮は、かつての地域 観光・産業振興を						を目的に設置された。本館 。	館では和紀	紙の手漉	き体験	もでき丹	後和紙に	こついて学習	でき	る		

Ⅱ 爭未來使用	秋							
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	和紙伝承館は、かつての地域施設として観光・産業振興を				置された。本館では和紙の)手漉き体験もでき丹	後和紙について学習できる	
対象者	来訪者(市民·観光客等)			対象者数	302	単位あたりコスト	12.5	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	≦管理 □ 補助金	交付 🗆	その他 ()	
委託先·実施主体等	丹後二俣紙保存会、田中製	紙工業所、アムスセキ	テュリティサービス(株)					
事業概要 (箇条書き)	和紙伝承館の管理運営を行 和紙伝承館の開館は、土日: 和紙伝承館での企画展を丹 和紙手漉き体験を田中製紙	祝日の午前10時から 後二俣紙保存会に委	託する。年3回開催する	•				
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容			Ì
	報酬	678	臨時職員報酬					
エペスローボン	職員手当等	43	職員手当					
業務内容と経費	需用費	304	光熱水費(電気料、上下	水道料)、燃料費	貴、消耗品費			
	役務費	57	建物損害共済保険料、電					
	委託料	284	手漉き和紙製作体験業績	務、和紙関連作,	品展示業務、警備業務等			

__ Ⅲ 予算執行状況

		区 分		R2(評価前年	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	隻)	R5(要:	求年度)	·
	1	当初予算			1,985			1,960			2,016			2,100
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			C
		次年度繰越			0			0			0			C
	小	th(1)~(3)			1,985			1,960			2,016			2,100
予	1	一般財源			1,691			1,666			861			899
算 財源	2	国支出金			0			0			861			899
源	3	府支出金			0			0			0			C
内	4	地方債			0			0			0			C
訳	(5)	その他特財			294			294			294			302
&h	1	流充用額			△ 575			△ 576						
算	2	配当予算			1,410			1,384						
決算情報	3	執行額			1,410			1,366						
ти		執行率			100.0%			98.7%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動嚷託職員)	0.07	/	0.30	0.30	/	0.00	0.30	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			1,310			2,400			2,400			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			2,720			3,766			2,400			0
		4. T.I 57.4± 0.1		和紙伝承館	使用料			総務使用料	•		4	2	10	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	和紙伝承館管	管理事業(地方創生	推進交付金)	種類	総務費国庫補助	金	実績金額	46	4 決算付属資料	16	頁
				和紙伝承館	体験料	·		雑入			5	4	46	

成里宝籍	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	施設利用者数		人	741	/	1200	371	/	1200	302	/	1200	/	1200	1200
天模/日保					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動宣籍	開館日数		日	126	/	131	109	/	116	91	/	117	/	116	-
活動実績(アウトプット)		単位あたり=	スト		15.8			12.9			15.0				
実績/計画					/		11	/			/		/		和紙伝承館管理事業
		単位あたり	コスト												

□ 他事業を統合

V 一次評価(₹	事業担当所属内による自己評価)		
項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・和紙伝承館において、和紙の製作過程の展示、また、手漉き和紙の体験等を実施し、丹後手漉き和紙の伝統文化を後世に継承するため、また、都市部等外部に情報を発信する施設として、市が関与し運営する。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	・市内児童が自ら手漉き和紙で卒業証書を作成するなど体験を通して郷土愛を育む取組の一環として当該施設が活用されている。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・効率的な運営に向けて、開館日を誘客の図りやすい土日祝と定め、また、体験について は、事前予約制として施設運営をを行っている。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・コロナ禍の影響により、施設利用者数は、より低迷しているが、手漉き和紙という貴重な 伝統文化を後世に継承するため、継続した事業が必要とされる。。 ・児童が自ら手漉き和紙で卒業証書を作成するなど体験を通して郷土愛を育む取組の一	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	環として当該施設が活用されている。 ・コロナ対策として、密を避けた和紙体験として、個人で体験可能な和紙を使用したうちわ体験を夏期限定で実施する。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		化である手漉き和紙の継承と観光振興による地域活性化を図るため、歴史と技の展示、製作 しており、市内児童による手漉き和紙による卒業証書の作成の取組など、継承に向けて一定 情報発信による利用者増が必要とされる。	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題			
改善策	施設利用者数の向上が課題であり、文化財の修め、効果ある情報発信を行う。 コロナ禍の影響を鑑み、一人でも体験できるうち。	復に使われる価値の高い手漉き和紙であることを強くPRすることをはじめ、海の京都DMOがわ製作体験等新たな商品の作成を進める。	など他組織との連携を
VI 二次評価(3	」 事業所属外による他部署評価)		
春体を禁止します。		事类 部层由标准 - 图 + 2 / - 4 A 	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふまる	た次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
担当課の	□ 事業の見直し □ 統合/組換		
事業の見直し 及び 予算要求する	□ 廃止/休止		
予算要求方針	☑ 事業の見直しなし		
 Ⅷ 予算反映結	· ;果		
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充	
ア 昇及 吠 桁果	□ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

) 口 他事業へ統合

1-4-2-1	7 1 1		4.0	1, 0 .	•	•			(単位:・	千円)					
事業属性				,					(+ 12 ·						
事業名	大江地域施設改修事業						事業	ミコード 230256							
政策体系	基本政策 8 市民一人ひ	とりが、時代の変化を	先取りし、地域産	業の発展に貢南	けできるまち	政策目標	夏 DXを生か	した商業・サー	ビス業の活性化	化					
以果件术	施 策 名 2 市の特質を	踏まえたキラリと光る	観光戦略の推進			•	施策	ミコード 822							
事業担当	所属 02100000 地域	振興部 大江支所				所属長	神内 明宏								
会計情報	款 02 総務費	項 01 総務管	管理費 目	11 地垣	艾 交流推進費	会計	01 一般会計	決算付属資料	86	頁					
計画期間	開始年度 平成5年度	終了予定年度	令和8年度 関	連計画名				R4現在の状	代況 継続口	中					
根拠法令等															
事業区分	□ 法定受託事務 □	国府補助事業	☑ 市単独事業	□ 内部庶	務的事業] その他 (()					
関連事業															
事業基礎情	報														
	大雲記念館等からなる「あしぎぬ大雲の里」や大江山グリーンロッジ等からなる「酒吞童子の里」の各施設の老朽箇所、損傷箇所の適切な修繕を行うことに、 投機能の維持・建物の長寿命化及び利用者の安全性・利便性を確保する。														
対象者	観光客及び市民	光客及び市民 対象者数 19,357 単位あたりコスト 0.2													
実施方法	☑ 直接実施 □ 業	務委託 □ 指足	定管理 🗆	補助金交付	□ その他	! ()					
委託先·実施主体等															
事業概要 (箇条書き)	「酒呑童子の里」及び「あしる	ぎぬ大雲の里」の施設	め の老朽箇所等の	改修(修繕)を行	ī う。										
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容												
	需用費	904	施設修繕	繕											
エの人田に席る	工事請負費	1,650	高50 酒呑童子の里木橋床板張替修繕工事												
業務内容と経費															
	·	1	1												
区分	P2(評価前年度)	R3(評価年)	度)		R4(本年度)		R5(要3	数年度)						

	Σ	3 分		R2(評価前年)	芰)		R3(評価年	度)		R4(本年)	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			1,000			3,500			16,759			5,577
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	†(① ~ ③)			1,000			3,500			16,759			5,577
予	1	一般財源			0			0			0			65
· 算 財源	_	国支出金			0			0			0			0
源		府支出金			0			0			0			0
内訳	4	地方債			0			0			16,000			4,600
兀	⑤	その他特財			1,000			3,500			759			912
2h	1	流充用額			878			△ 704						
算	2	配当予算			1,878			2,796						
決算情報	3	執行額			1,878			2,554						
		執行率			100.0%			91.3%						
人概		従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.22	/	0.05	0.22	/	0.00	0.22	/	0.00	0.00	/ (0.00
工算	2	概算人件費			1,885			1,760			1,760			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			3,763			4,314			1,760			0
	. ,	ermite!		地域振興施設	維持補修基金繰	入		基金繰入金			2,19	0	38	
		↓利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	施設利用者数		人	40080	/	44700	20886	/	44700	19357	/	44700	/	44700	44700
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	修繕及び改修等	手件数	回	4	/	2	6	/	3	6	/	5	/	3	3
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	スト		183.1			313.0			425.7				
実績/計画					/		13	/			/		/	大	江地域施設改修事業
		単位あたり二	コスト												

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた	の運営が可能となる。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施するこ できない事業か	- Leo	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・施設の長寿命化につながり、地域活性化拠点施設としての運営が持続できる。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適り 把握・測定されているか	が施設利用者数は、コロナ禍の影響により、学生等の団体利用、また、大江地域への来訪者が低迷し、目標数達成が困難な状況であった。 ・本事業は、長期的視点から、施設を活用した地域振興策の継続のため、成果はある。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか	ıt	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題			
改善策	興に資する施設の新たな有効活用策	3瓦工房等管理事業と関連しており、民間の特性を活かした効果的な管理運営を目指し、また、市直営旅の確立を目指し、活用の検討を進める。	函数においては、地域振
VI — 次評価(+	事業所属外による他部署評 	作曲 <i>)</i>	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふまえ	た次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in was a	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	・次年度においては、老朽化施設の除却、除却後の広場整備等を予定しており、来訪者の安全性、景観維持等を図り、来訪者
1 #X4/15	☑ 事業の見直しなし	向上の促進を目指す。

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	☑ 予算拡充	□ 予算縮減			
了异众吹和米	□ 他事業を統合	(統合事業名: —		□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

(単位:千円)

l l	争某偶性																	
	事業名	元伊勢観光	センター管理事	ŧ									事	業コード	230259			
	政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りカ	、時代の変化	化を先取りし、地	域点	産業の発展に	貢献できるまち		政策目	票 2	DXを生	かした商	業・サー	ビス業	の活性化	
	以来许求	施策名	2 市の特質を置	当ま.	えたキラリとシ	光る観光戦略の持	隹迠	<u></u>					施	策コード	822			
	事業担当	所属	02100000 地域技	長興	部 大江支所	f					所属長	神神	り 明宏					
	会計情報	款													86	頁		
	計画期間	開始年度	平成23年度 終了予定年度 令和8年度 関連計画名 R4現在の4											現在の状	:況	継続中		
4	根拠法令等																	
	事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府	存補助事業	☑ 市単独	事美	業 口内部	『庶務的事業	□ その)他	()
	関連事業																	
Ш	事業基礎情	報																
(施	事業目的 策実現に向けて はが果たす役割)	丹後天橋立	大江山国定公園	<u>の</u> フ	大江山や元伊	†勢三社の観光家	《内	機能を持たせ	、国定公園の玄	玄関口・誘	客拠点と	して観え	光による	地域振興	を目指す	f .		

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	丹後天橋立大江山国定公園	の大江山や元伊勢3	Ε社の観光案内機	能を持たせ	、国定公園(の玄関ロ・誘客拠点として	観光による地域振り	見を目指す。	
対象者	来訪者(観光客等)			Ż	対象者数	1,270	単位あたりコスト	2.4	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	管理 □ ネ	補助金交付		その他 ()
委託先·実施主体等	大江地域観光案内倶楽部	どぶろく研究会							
事業概要 (箇条書き)	元伊勢観光センターの施設 大江山、元伊勢3社等大江地			光熱水費、老	⊱朽箇所•損·	傷箇所修繕)のための経	典 見 。		
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)				主な業務内容			
	需用費	267	光熱水費(電気料	人上下水道	[料)、燃料費	暨、消耗品費			
主な支出に係る	役務費	110	建物損害共済保障	険料、電話 料	枓				
業務内容と経費	委託料	556	大江ふるさと観光	案内業務、	トイレ等施設	设清掃業務、駐車場除雪ӭ	美務		
			·						

||| 予算執行状況

	į	区 分		R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	E)	R5(要	求年度)	
	1	当初予算			1,106			988			1,014			979
予	2	補正予算			0			0			0			C
算情報	3	繰越予算			0			0			0			C
報		前年度繰越			0			0			0			(
		次年度繰越			0			0			0			(
	小	th(1)~(3)			1,106			988			1,014			979
予	1	一般財源			842			736			768			729
算	2	国支出金			0			0			0			(
財源		府支出金			0			0			0			(
内訳	_	地方債			0			0			0			(
- N	5				264			252			246			250
決		流充用額			0			0						
算	-	配当予算			1,106			988						
決算情報	3	執行額			1,093			933						
	_	執行率			98.8%			94.4%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動爆託職員)	0.06	/	0.30	0.27	/	0.00	0.27	/	0.00	0.00	/ 0	0.00
工算	2	概算人件費			1,230			2,160			2,160			C
卜 -	算執	タルコスト _{行額+概算人件費)}			2,323			3,093			2,160			(
		4. T. 1		元伊勢観光	ビセンター貸付収入			財産貸付収入			1	26	32	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	元伊勢観光	だセンター自販機電:	気代	種類	雑入		実績金額		41 決算付属資料	44	頁
				元伊勢観光	tセンター使用者負	担金		雑入				79	46	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム) 実績/目標	施設利用者数		人	1903	/	2000	1852	/	2000	1270	/	2000	/	2000	2000
天模/日保					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	開設日		件	141	/	149	99	/	116	90	/	117	/	116	116
活動実績(アウトプット)		単位あたり	スト		9.3			11.0			10.4				
実績/計画					/		15	/			/		/ 元	伊勢観	光センター管理事業
		単位あたり	コスト												

V		事業担当所属内による自己評価) 「		施策·施策成果指標
	項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	ル東・ル東以来指標 に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	・本施設は、大江山のルート上、かつ、元伊勢三社の近隣にあり、観光案内に適した位置となる。本施設において、土日に観光案内所を開設し、パンフレットによる情報だけではなく、ガイドを介して丁寧な情報提供により観光客の満足向上を図り、観光振興を進めてい	
	必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	る。 ・あわせて、施設一部貸付を行い、民間による飲食の提供を行っている。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・観光案内に関しては、効率性を高めるため、週末、祝祭日の利用が見込まれる日時を主に開設日と開設時間を設定している。 ・一部施設の貸付を行い、施設有効活用を含め、効率的な施設の維持管理を行っている。	□ やや高い
	効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・ガイドによる観光情報の提供により、観光客の満足度向上が図られ、観光振興に有効性	□ 低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	が高い事業である。	
	有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
		・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
			伊勢三社など多くの観光資源を有し、かつ大江において多くの観光者が訪れる地域の観光案 客の満足度向上に資するなど観光振興の一端を担っており、一定事業目的を達成していると ま	
	定性的な面も			
	がた自己評価 び現状の課題			
		・観光振興の取組みとして、地域住民を主体に	観光ボランティアガイドの育成を行い、観光地でのおもてなし土壌の強化による、観光客の更た	る満足度向上を図る。
	改善策			
	- 冷砂圧()	 事業所属外による他部署評価)		
VI	一人計価(尹禾川橋介による他印者評価)		
*	後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII	評価をふまえ	た次年度事業方針		
		方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
	担当課の	□ 事業の見直し		
3	事業の見直し 及び	□ 統合/組換 □ 廃止/休止		
3	予算要求方針	□ 廃止/休止 □ 承業の見直しなし		
		2 テネツル直じるし		
VIII	予算反映結	果		
3	予算反映結果	☑ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
	6 1100/17	□ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

事業名	観光関連施	設管理事業								事業コー	-ド 230261			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りが、時代の変化	とを先取りし、地	域産	業の発展に	貢献できるまち	政策目標	2 DX	生かした	-商業・サー	ビス業	の活性化	
以来许求	施策名	2 市の特質を設	沓まえたキラリとき	光る観光戦略の 持	推進				•	施策コー	-ド 822			
事業担当	所属	02100000 地域技	長興部 大江支剤	ŕ				所属長	神内 明	房宏				
会計情報	款	02 総務費	項 01 総	01 一般会	計 決領	章付属資料		86	頁					
計画期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名					R4現在の∜	₹況	継続中	
根拠法令等														
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業)					
関連事業														

|| 事業基礎情報

11 4 7 2 7 16	T/A														
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	観光地にある公衆トイレの適	ī正な維持管理により	、観光振興の推進、観光	客の満足度向」	こ、観光入込客数の増加を	F図る。									
対象者	来訪者(観光客等)			対象者数	13,490	単位あたりコスト	0.3								
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	≦管理 □ 補助金	交付 🗆	その他 ()							
委託先·実施主体等	(株)クリア 大江観光(株)														
事業概要 (箇条書き)	公衆トイレ(5か所)の維持管 公衆トイレ(1か所)の清掃業	地の公衆トイレの適正な維持管理行う。 トイレ(5か所)の維持管理委託及び光熱水費の経費。 トイレ(1か所)の清掃業務委託の経費。 関連施設(大江山グリーンロッジ、公衆トイレ5カ所)の建物損害共済保険料。 関連施設の土地貸借料。													
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容										
	需用費	360	光熱水費(電気料、上下	水道料) 修繕料	斗(トイレ修繕)										
上の人田にから	役務費	155	手数料(浄化槽法定検査	E等) 保険料(強	性物共済分担金)										
業務内容と経費	委託料	2,310	維持管理業務(トイレ維持	寺管理業務(5件)) 施設清掃業務(トイレ)	青掃管理業務(1件))									
	使用料及び賃借料	15	土地借上料(電線架線の	ための土地賃付	昔料)										

Ⅲ 予算執行状況

111	2	了 异 教 1 1 1 1 1 X		R2(評価前年	F度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	()	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			2,652			2,873			2,904			3,262
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	†(① ~ ③)			2,652			2,873			2,904			3,262
予	1	一般財源			2,224			843			2,479			3,262
算財源	2	国支出金			0			0			0			0
斯源	3	府支出金			0			0			0			0
内訳	4	地方債			0			0			0			0
兀	(5)	その他特財			428			2,030			425			0
э т	1	流充用額			34			Δ7						
算	2	配当予算			2,686			2,866						
決算情報	3	執行額			2,685			2,840						
		執行率			100.0%			99.1%						
人概	1	従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.06	/	0.25	0.20	/	0.00	0.20	/	0.00	0.00	/ 0	.00.
工算	2	概算人件費			1,105			1,600			1,600			0
卜- (予算	算執	タルコスト 行額+概算人件費)			3,790			4,440			1,600			0
		Turn4+ D1		大江山グリー	-ンロッジ貸付収入			財産貸付収入			4:	25	32	
(N	王な	は利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	大江山入込客数	Į.	人	29180	/	30000	15010	/	30000	13490	/	30000	/	30000	30000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	管理施設数		件	6	/	6	6	/	6	6	/	6	/	6	6
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		449.5			447.5			473.3				
実績/計画					/		17	/			/		/	観	光関連施設管理事業
		単位あたり〓	コスト									•			

V 一次評価	5(事業担当所属内による自己評価		
項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	・大江山や周辺を観光される方に安心で快適に過ごしていただくために観光トイレの清掃 また設備の維持管理を行う。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・専門業者への委託により、業務内容を精査の上、観光トイレの適正な経費で事業を実施 している。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	・コロナ禍の影響を受け、大江山周辺に訪れる観光客は、通常時より大きく減少しているが、自由使用できる公衆トイレは、観光客が安心で快適に過ごしていただくために必要な施設であり、継続し、維持管理を行こなう。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか 大江山や周辺を観光される方に安全で快適に	こ過ごしていただくためのハイキング道や観光トイレの維持管理は必要である。大江山や周辺を	観光される方に快適に
	過ごしていただく条件を整備することにより、	現光客の満足度を高めることができる。R2、R3は、コロナ禍の影響を受け、大江山周辺を訪れる R心で快適に過ごしていただくために必要な施設であり、継続した維持管理により、来訪者の満足	観光客は、大きく減少し
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題			
	コロナ禍の影響により、来訪者の減少となった 来訪者の増加につなげる。	こが、他観光宿泊施設との連携により、地域資源である大江山の魅力、鬼の魅力等地域情報の	発信を積極的に行い、
改善策			
U 二次評価	5(事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふ	まえた次年度事業方針		
	方針区分 □ 事業の見直し	評価を踏まえた見直し内容	
担当課の 事業の見直し	□ 事業の見直し □ 統合/組換		
テ某の見直し 及び 予算要求方針	□廃止/休止		
1 37 34 77 31	☑ 事業の見直しなし		
VⅢ 予算反映			
予算反映結果	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑ 予算拡充 □ 予算縮減	
	□ 他事業を統合 (統合事業名: —) 口 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

程		江山 下 葉属性	了令	和4	年度	事務事	業評	価シ	-	•				(単位: [:]	千円)
	4	業名	日本鬼文化	上交流事業								事業コート	130117		
		<u> </u>	基本政策	8 市民一人ひと	<u>-</u> りが、時代の)変化を先取りし、地	域産業の発展に	貢献できるま	まち	政策目標	2 DXを	生かした剤	 商業・サービス	業の活性化	Ł
	収	策体系	施策名	2 市の特質を	踏まえたキラ	」と光る観光戦略の	推進					施策コート	÷ 822		
	事	業担当	所属	25050000 産業	政策部 産業	観光課				所属長	山田 信	義			
	会	計情報	款	07 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費		会計 0	1 一般会計	 決算	付属資料	-	頁
	計	画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年	度 令和8年度	関連計画名					F	R4現在の状況	継続ロ	Þ
	根拠	L法令等	福知山市力	大江山酒吞童子祭	8り補助金交(寸要綱									
	事	業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事	業 ☑ 市単独	事業 □ 内部	『庶務的事第	関 □ その)他 ()
	関	連事業													
- []	事	業基礎情	報												
	施策》	業目的 実現に向けて 果たす役割)				る「福知山市大江町 岡県小山町)との相2			により、鬼伝言	党を観光・交	流コンテン	ツとして	大江地域の活	性化を図る	。ま
	×	象者	大江山酒君	5童子祭り実行委	員会		3	対象者数	4,5	00	単位あ	たりコスト		0.0	
	実	施方法	□ 直接実	施 □ 業	务委託	□ 指定管理	☑ 補助金交付		その他	()
委託	£先·	実施主体等		5童子祭り実行委											
		業概要 条書き)		5童子祭り実行委 ウイルス感染症⅓											
			支出に	係る主な費目	支出実績	(R3)			主	な業務内容					
		と出に係る													
3	そ初かり	内容と経費													
			<u> </u>												
	<u>寸</u> 区	算執行状	<u>沈</u>	R2(評価前年度	\	D2/57	価年度)		R4(本	左曲\			DE/画光左	ote \	
		分 当初予算		RZ(計画別千及	1.744	K3(BT)		344	<u> </u>	十尺/	1.901		R5(要求年		1.901
.	_	=100 7 并 補正予算			0		1,0	0			0				0
筝		ლ並了并 繰越予算			0			0			0				0
惰報	9	前年度繰越			0			0			0				0
		次年度繰越			0			0			0				0
	小計	(1)~(3)			1.744		1.8	344			1.901			1	1,901
	_				0		.,,	0			0				0
筝算	_	国支出金			0			0			0				0
財源	3	府支出金			0			0			0				0

		区	分	I	R2(評価前年	F 度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	隻)	R5(要	求年度)	
		1 #	初予算			1,744			1,844			1,901			1,901
	予	② 補	正予算			0			0			0			0
	算情報	③ 繰	越予算			0			0			0			0
	報		前年度繰越			0			0			0			0
			次年度繰越			0			0			0			0
		小計((1)~(3)			1,744			1,844			1,901			1,901
	予	① -	-般財源			0			0			0			0
	· 算財源	② 匤	支出金			0			0			0			0
	期源	③ 府	支出金			0			0			0			0
	内	④ 地				0			0			0			0
			の他特財			1,744			1,844			1,901			1,901
	決	① 流	充用額			0			0						
	ᄑ		当予算			1,744			1,844						
	報	③ 幇				0			0						
		4 執				0.0%			0.0%						
	人概	① 従	事職員数 (/非常動嚷託職員)	0.00	/	0.00	0.02	/	0.00	0.02	/	0.00	0.00	/ 0.0	00
-	工算	2 概	提 算人件費			0			160			160			0
	卜- (予算	ー タ) ^{算執行額}	レコスト +概算人件費)			0			160			160			0
		主か利	l用特財												
	(N	エは利 -1年	度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料 ——		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
実績/目標	大江山酒呑童子	4祭参加者	人	1500	/	2500	0	/	0	0	/	2500	/	2500	2500
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	日本鬼師の会大	会・理事会		2	/	4	0	/	4	0	/	4	/	4	4
(アウトプット)		単位あたり=	スト		565.5			0.0							
実績/計画	鬼にかかわる相	互交流		3	/	6	19 0	/	6	0	/	6	/	6	日本鬼文化交流事業
		単位あたり二	スト		337.0			0.0							

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	大江山の鬼伝説を交流コンテンツとして活用した事業であり、大江地域の個性を活かした 地域づくりには必要である。 実行委員会を中心にイベント開催の可否について検討を進めたが、新型コロナウイルス感 染症拡大防止のため、中止とした。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	未近加入明正のため、千正とした。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	イベントが中止となったため、大江山酒吞童子祭り実行委員会に対して補助金を支出しなかった。	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	鬼でつながりのある兵庫県川西市や静岡県小山町の祭りへの相互参加を例年実施していたが、コロナ禍ということもあり、交流を図ることができなかった。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	拡大の影響により中止となった。	影響により開催されなかった。令和3年度も開催に向けて実行委員会で検討を進めたが、新型	
		まっており、「福知山=鬼のまち」の認知獲得のため、秘書広報課が「鬼文化PR事業」を実施 童子祭りに参加してもらうという行動変容につなげていくかが課題である。	し、鬼のフロモーション
定性的な面も 含めた自己評価			
及び現状の課題			
		知獲得と本市への来訪を促す企画を実施する予定である。日本の鬼の交流博物館や鬼の像 て発信することで、秘書広報課と連携して認知獲得、誘客を図っていく。	などの観光スポットだけ
	Clara (C) Electron (C)		
改善策			
~ ~			
	 事業所属外による他部署評価)		
VI 一次計画(サ末// 個/11による100中名計 /		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
予以に関ってい		ず未肝個大心吹に心軟 (2) ネデネソッ//	
	 えた次年度事業方針		<u> </u>
All 84 Im 5 (2) (2)	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
 .	□ 事業の見直し		
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止		
5 51 margages m1	☑ 事業の見直しなし		
 Ⅷ 予算反映編	 		
	□ 現状維持 □ 廃止/休止	☑ 予算拡充 □ 予算縮減	
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: 一)

福知山市	了令	和4	年度事	事務事	業許	価シ	· — 1	+				(単位:	千円)
事業名	観光おもて	なし促進事業								事業コー	F 230101		
T-M-11-2	基本政策	8 市民一人ひる	とりが、時代の変化	上を先取りし、地域	域産業の発展	に貢献できるる	まち	政策目標	2 DXを	生かした	商業・サービス	ス業の活性・	化
政策体系	施策名	2 市の特質を	踏まえたキラリと光	光る観光戦略の推	進					施策コー	ド 822		
事業担当	所属	25050000 産業	政策部 産業観光	:課				所属長	山田 信	義	•		
会計情報	款	07 商工費	項 01 i	商工費	目	03 観光費		会計 0	1 一般会	計 決算	「付属資料	180	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名						R4現在の状況	継続	中
根拠法令等													
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独事	業 口 内	n部庶務的事業	業 □ その	D他 ()
関連事業													
事業基礎情	 報												
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)			山城をはじめとし。 つなげる。また、次						イキングを	を実施する	ことで、本市へ	∖の観光誘	客を
対象者	ディスカバー	ーウエストハイキ	ング参加者			対象者数	11	10	単位あ	たりコスト	•	13.8	
実施方法	☑ 直接実	施 □ 業	務委託 🗆	指定管理	□ 補助金交	付 🗆	その他	()
委託先•実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	(1)福知山 (2)福知山	観光ガイド塾「明 観光ガイド塾「鬼	らがもてなす「また。 智光秀版」 開催 伝説版」 開催 ディスカバーウエン	日:令和3年11月 日:令和4年2月5	7日、11月14日 日、2月19日、	、12月5日、1	2月12日 参	n者:2人	スのため中	中止)申込	込者:9人		
	支出に	係る主な費目	支出実績(R3))			主	な業務内容					
	報償費		2	243 観光ハイキン	ノ グ(ディスカノ	ヾーウエストハ	イキング)に	かかる報償3	費				
主な支出に係る 業務内容と経費													
Ⅲ 予算執行状	 況		•	•									

	2	区分		R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			402			402			459			517
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	h(1)~3)			402			402			459			517
予	1	一般財源			0			0			0			0
算	_	国支出金			0			0			0			0
算財源内		府支出金			0			0			0			0
内訳		地方債			0			0			0			0
B/\	-	その他特財			402			402			459			517
決	_	流充用額			0			0						
決算	-	配当予算			402			402						
情報	-	執行額			347			243						
		執行率			86.3%			60.4%						
人概	_	従事職員数 (正職員 / 非常動螺託職員)	0.10	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			800			1,280			1,280			0
		タルコスト _{行額+概算人件費})			1,147			1,523			1,280			0
		t. Turnett Di		観光おもて	なし促進事業基金	繰入		基金繰入金			20	0	38	
(N	王な 1 — 1	な利用特財 1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光ガイド数		人	42	/	30	47	/	30	47	/	30	/	30	30
実績/目標	受講者数		人	27	/	30	11	/	30	2	/	30	/	30	30
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	養成講座実施数			7	/	7	6	/	7	3	/	7	/	7	7
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		49.5			57.8			81.0				
実績/計画					/		21	/			/		/	観光	おもてなし促進事業
		単位あたり〓	コスト												

方針区分

☑ 事業の見直し

□ 統合/組換

□ 廃止/休止
□ 事業の見直しなし

□ 廃止/休止

(統合事業名:

□ 現状維持

□ 他事業を統合

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	ディスカバーウエストハイキングでは、観光ガイドが解説を行いながら、①明智光秀ゆかりの地 ②元伊勢エリアを巡る2コースを実施している。おもてなしの精神を持った観光ガイドによる詳しい解説付きツアーを実施することによってリピーターの獲得を図っている。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	ガイド団体に対する謝金であり最小限度の支出をしている。 また、ディスカバーウエストハイキングは、JR西日本が事業として広報しており、HPやチラ シ等で集客を図っているほか、本市が参画する海の京都DMO等の告知媒体でも積極的 に広報を行っている。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	ガイド養成講座の実施により、ガイド人材確保と観光客の満足度を高め、リピーターとして 訪れてもらうよう、ガイドの質の向上を図っている。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	へのアプローチも行っているが、学業との兼ね合		構してもらうなど若年層
		観光全般について幅広く学ぶ講座に内容を見直し、参加対象者を拡大する。 会に委託し、観光協会会員の参加も促していくことで、観光に関わる団体のおもてなし力の向]上も図る。
VI 二次評価(事	事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふまえ	た次年度事業方針		

☑ 予算拡充

評価を踏まえた見直し内容

本市の主要観光コンテンツである、「明智光秀」と「元伊勢」のガイドツアーを実施することで、観光客の満足度向上とリピーターの獲得を図る。また、ツアーが持続可能な活動となるよう、次世代のガイド養成のための講座も継続して実施する。

(統合先事業名: —

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合

単位あたりコスト

(単位:千円)

	事業属性									· · · -	
	事業名	観光友好都市交流事業							事業コード	230109	
		基本政策 8 市民一人で	トとりが、時代の	変化を先取りし、地	域産業の発展に貢献	げできるま	きち 政第	き目標 2 DX	を生かした商	業・サービス業の活情	性化
	政策体系	施策名 2 市の特質を	を踏まえたキラ!	」と光る観光戦略の	推進		· ·		施策コード	822	
	事業担当	所属 25050000 産	業政策部 産業				所	属長 山田	 信義		
	会計情報	款 07 商工費	項	01 商工費	目 03	観光費	会言	† 01 一般到	会計 決算付	属資料 -	頁
	計画期間	開始年度 平成25年度		度 令和8年度	関連計画名			, , , , , , ,			/休止
	根拠法令等	観光友好都市提携	10772	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	13/21/11/1					30 = 1 7 130	
	事業区分		□ 国府補助事	業 ② 市単独	事業 □ 内部庶	数 奶 車 考		()
	サネロル 関連事業	口 法足支託事務 [」 国内無助争:	未 2 川半街	# 그 거마요	伤叩爭习	E L ての他	(,
		<u> </u>									
	事業基礎情		1								
(4	事業目的 施策実現に向けて 事業が果たす役割)	かつて本市に西日本の三 る。食文化としての肉を新							々な「肉」を扱	つた店舗か多く存在し	してい
	対象者	市内小中学生			対象	者数	7,000	単位	あたりコスト	0.0	
	実施方法	☑ 直接実施 □ 第	美務委託	□ 指定管理	□ 補助金交付		その他 ()
委	託先·実施主体等										
	事業概要 (箇条書き)	○「夏休み富士山チャレン 事業内容:富士登山と小 ○「鬼伝説交流事業」の実 事業内容:小山町の児童 ※新型コロナウイルス感刻	山町との交流 施 証を本市に招き、	参加対象:市内の中本市の子どもたちと	:交流を図る						
		支出に係る主な費目	支出実績	(R3)			主な業務	务内容			
	主な支出に係る										
3	業務内容と経費										
Ш	予算執行状	況									
	区分	R2(評価前年)	芰)	R3(評f	面年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)	
	① 当初予算		0		•				_		
			۷		0			(P		1,436
予	② 補正予算		0		0		-)		1,436
算								(
	② 補正予算		0		0			(0
算情	② 補正予算 ③ 繰越予算		0		0			()		0
算情	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越		0 0		0 0 0			(0 0
算帽報	② 補正予算③ 繰越予算前年度繰越次年度繰越		0 0 0 0		0 0 0 0			(0 0 0 0 1,436
算情報	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③)		0 0 0		0 0 0			(0 0 0
算情報 予算財	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源		0 0 0 0 0		0 0 0 0 0			(0 0 0 0 1,436 1,200
算情報 予算	 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 		0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0						0 0 0 0 1,436 1,200
算情報 予算財源	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金		0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0						0 0 0 0 1,436 1,200 0
算情報 予算財源内	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債		0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0						0 0 0 1,436 1,200 0
算情報 予算財源内訳 決	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財		0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0						0 0 0 1,436 1,200 0
算情報 予算財源内訳 決算情	 (2) 補正予算 (3) 繰越予算 前年度繰越 水年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 		0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0						0 0 0 1,436 1,200 0
算情報 予算財源内訳 決算:	 (2) 補正予算 (3) 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 		0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0						0 0 0 1,436 1,200 0
算情報 予算財源内訳 決算情報	 (2) 補正予算 (3) 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		00 - /				0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概	 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率 ① 執行率 ① 従事職員数 (正職員/非本病報に職員) 	0.00 /	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		00 /	0.00	0.00	/ 0.	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算	2 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 次年度機越 2 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 ① 従事職員数 (正職長・無本務報報に職所) ② 概算人件費	0.00 /	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	00 /	0.00		/ 0.	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 1.	 ② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率 ① 執行率 ① 従事職員数 (正職員/非本病報に職員) 	0.00 /	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	00 /	0.00	0.00	/ 0.	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 1.	2 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度機越 (2 国支出金 (3) 所支出金 (4) 地方債 (5) その他特財 (1) 流充用額 (2 配当予算 (3 執行率 (1) 従事職員数(電話) (2 概算人件費 (2 概算人件費	0.00 /	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	00 /	0.00		/ 0.	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 卜 母	2 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充 予算 ③ 執行率 ② 配子額 ④ 執行率 ① 従事職員数(正確) / 年報 ② 概算人件費	0.00 /	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	00 / 実績金額	0.00	0.00	/ 0.	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 卜 母	2 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率 ① 従事職員数(正商長/海本衛の組織)(正商長/海本衛の組織)(企業人件費 タルコスト 算執行額+概算人件費)		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.		0.00	0.00		0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 上 (子)	2 補正予算 (3 繰越予算) 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ① 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行率 ① 従事職員数(正商長) 本務時間(正商長) 本務中費 算執行報 ② 概算人件費 ータルコスト 算執行額(表別) は、一クサル・概算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.		0.00	0.00		0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 卜 母	2 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府方債 ⑤ その他特財 ① 流充 予額 ② 執行下率 ③ 執行下率 ① 従事職所無明に電局) ② 概事 開集人件費 上の力債・標準 を表する。 ② 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	特財名称	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	種類	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	実績金額	0.00	0.000	属資料	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 上 (子)	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度機越 (4) 地方(1) 一般財用 (2) 配計 新 第 第 第 第 第 4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	特財名称	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	種類 	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	実績金額 R3	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	国資料 最終目標	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 上 (子)	2 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 小計(①~③) ① 一般財源 ② 国支出金 ③ 府方債 ⑤ その他特財 ① 流充 予額 ② 執行下率 ③ 執行下率 ① 従事職所無明に電局) ② 概事 開集人件費 上の力債・標準 を表する。 ② 大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	特財名称	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	R1 14 / 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	実績金額 R3	0.00	0.000 0.000 0.000 0.000 0.000 0.000	属資料	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 上 (子)	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 小計(①~③) ① 一般財出金 ③ 府支力債 ⑤ その他特財 ① 流当 予額 ② 執行平職員数 (正照析/非共和期性無用) ② 概算 / 以レ共 算執行額 + 機算 / 以上共 算	特財名称 指標 富士山登山参加数	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	R1 14 / 1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	実績金額 R3 /	0.00	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0	最終目标 4 14	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 上 (子)	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 小計(①~③) ① 一般財出金 ③ 府支力債 ⑤ その他特財 ① 流当 予額 ② 執行平職員数 (正照析/非共和期性無用) ② 概算 / 以レ共 算執行額 + 機算 / 以上共 算	特財名称 指標 富士山登山参加数 指標	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	R1 14 / 1 / R1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	実績金額 R3 / / R3	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	展資料 最終目標 4 14 最終目標	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 上 (子)	② 補正予算 ③ 繰越	指標 富士山登山参加数 指標 実施回数	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	R1 14 / 1 / R1 1 /	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	実績金額 R3 /	0.00	0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.0	展資料 最終目標 4 14 最終目標	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236
算情報 予算財源内訳 決算情報 概算 上 (子)	② 補正予算 ③ 繰越予算 前年度繰越 次年度繰越 次年度繰越 次年度線越 次年度線越 次年度線越 次年度線越 水計(①~③) ① 一般財出金 ③ 府方 位特財 ① 記 出金 ④ 地のの充 当 行 (指標 富士山登山参加数 指標 実施回数	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	R1 14 / 1 / R1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0.	実績金額 R3 / / R3	0.00	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	展資料 最終目標 4 14 最終目標	0 0 0 1,436 1,200 0 0 236

□ 現状維持

□ 他事業を統合

予算反映結果

□ 廃止/休止

(統合事業名: —

_ V 一次評価(₹	事業担当所属内による自己評価)	
項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	平成24年に提携した観光友好都市静岡県小山町との交流を今後も継承し、将来にわたる 絆を深めるために必要である。 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、R2~R4は事業を中止とした。	□高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか・コスト削減や効率化に向けた工夫が	平成30年度からは富士山登山参加者から負担金を徴収しており、歳入確保に努めている。	✓ やや高い□ やや低い□ 低い
有 効 性	施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	両市町の親交をさら深めるためには、市民(小中学生同士)の交流が有効である。	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題		互いのまちに対する愛着心の醸成につながっている。 参加申込は毎年30名程度を受付ている状況であるが、受入先の態勢で14人である。	
改善策	参加希望者全員に事業に参加していただきたの参加を促していく必要がある。	いが、小山町側の受入れの都合もあり、14人の参加が最大となっている。小山町の小学生を本	市に迎え入れる事業へ
VI 二次評価(署	事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
VII 評価をふまえ	た次年度事業方針		
担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分 □ 事業の見直し □ 統合/組換 □ 廃止/休止 □ 事業の見直しなし	評価を踏まえた見直し内容 度より事業を再開する予定である。	
VⅢ 予算反映結	·		

☑ 予算拡充

□ 予算縮減

) 口 他事業へ統合

(統合先事業名: —

(単位:千円)

	_			
1	#	₩.	厜	桦
	#	3	/海。	74

- 1	尹禾尚江																	
	事業名	観光振興一	·般管理事業										事	業コー	ド 230125	j		
	政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りか	、時代の変化	化を先取りし、地	域点	産業の発展に	貢献できるまち		政策目	標 2	2 DXを生	かした	商業・サー	-ビス	業の活性化	
	以果件术	施策名	2 市の特質を置	*また	えたキラリと	光る観光戦略の持	佳道	<u></u>					事業コード 23 2 DXを生かした商業・施策コード 82 山田 信義 1 一般会計 決算付属 R4現名	ド 822				
	事業担当	所属	25050000 産業	女策	部 産業観光	光課					所属县	Ę	山田 信義					
	会計情報	款	07 商工費	項	01	商工費	E	1	03 観光費		会計	01	一般会計	決算	付属資料		180	頁
	計画期間	開始年度	平成1年度	終	了予定年度	令和8年度		関連計画名				犬況	継続中	1				
•	根拠法令等																	
	事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国用	守補助事業	□ 市単独	事	業 ☑ 内部	『庶務的事業 [] そσ.	他	()
	関連事業																	
Ш	事業基礎情	報																
		観光振興業	務を円滑に執行	する	0													
	事業目的																	

尹耒垄啖頂	秋						
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	観光振興業務を円滑に執行	する。					
対象者				対象者数		単位あたりコスト	
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	☑管理 □ 補助	金交付] その他 ()
委託先·実施主体等	株式会社能見土建						
事業概要 (箇条書き)	観光振興業務を円滑に執行	するための内部事務	経費				
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容		
	旅費	81	普通旅費				
主な支出に係る	需用費・使用料及び賃借料	29	消耗品費、高速料金	等通行料			
業務内容と経費	役務費	153	通信運搬費等				
	委託料	292	観光案内看板撤去第	美務			
	負担金補助及び交付金	648	加盟団体への負担金	Ž			

Ⅲ 予算執行状況

		区 分		R2(評価前4	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	更)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			1,750			1,629			3,270			3,411
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			C
報		前年度繰越			0			0			0			C
		次年度繰越			0			0			0			C
	小	計(① ~ ③)			1,750			1,629			3,270			3,411
予	1	一般財源			1,715			1,606			3,247			3,388
箅	2	国支出金			0			0			0			(
算財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			(
訳	(5)	その他特財			35			23			23			23
čh.	1	流充用額			△ 4			217						
算	2	配当予算			1,746			1,846						
決算情報	3	執行額			1,192			1,202						
ти		執行率			68.3%			65.1%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動嚷託職員)	0.15	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			1,200			1,280			1,280			C
		タルコスト 行額+概算人件費)			2,392			2,482			1,280			C
				観光テレホン	ンカード			物品売払収入				1	34	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	福知山十景	絵はがき		種類	物品売払収入		実績金額		3 決算付属資料	34	頁
			責値) 観光振興一般管理事業(きょうと地			(連携交付金)		商工費府補助金	È		18	3	28	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	連携する広域観	光団体	団体	3	/	3	3	/	3	3	/	3	/	3	3
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		652.5			397.3			400.7				
実績/計画					/		25	/			/		/	観	光振興一般管理事業
		単位あたり〓	コスト												

コストは女ヨな水牛か		評価の観点に寄与した取組事項	評価の観点		項
慢先度の高い事業か ・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に 押援・測定されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に を定額を支払っている。		施するために必要である。 大丹波観光推進委員会では、コロナ禍によりリアルイベントが開催できないことから、JAF	・民間事業者や市民が自ら実施することの	要性	必引
カ 車 性	☑高い				
###	□ やや高い				
施されているか ・成果目標は理にかない、実績は適切に 海の京都DMO、森の京都DMO以外の広域観光団体に関する負担金の予算を計上し毎 年定額を支払っている。	□ やや低い			率 性	勃 3
「水港」では、天根は週別に「年間を支払っている。	□ 低い				
		年定額を支払っている。			
有 効 性 ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・ 光団体との連携は有効である。		光団体との連携は有効である。		効 性	有多
・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか					
また、広域団体との連携においては、単独でできないスケールメリットを活かしたプロモーション等に取り組んだ。 一方で、令和3年度は緊急事態宣言の発令期間が長期間に及んだため、十分な誘客促進が図れていないが、令和4年度においてはワクチン接種が進んでから、アフターコロナを見据えた今後の展開を各団体と協議していく必要がある。 定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	接種が進んでいること	が長期間に及んだため、十分な誘客促進が図れていないが、令和4年度においてはワクチン	一方で、令和3年度は緊急事態宣言の発令期間	:自己評価	含めた目
本市が参画する広域観光団体は、海の京都DMO、森の京都DMOのほか、京都府観光連盟、北近畿広域観光連盟、大江山観光開発協議会、大丹波観光 員会があり、それぞれの団体に強みがある。 リアルでの観光イベントが徐々に再開され始めているため、広域観光団体と調整しながらリアルとオンラインを活用した観光促進事業を推進していく。 改善策			員会があり、それぞれの団体に強みがある。	善策	改着
事後評価コメント 事業評価実施後に記載(対象事業のみ)		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)			
VII 評価をふまえた次年度事業方針			た次年度重業方針	平価をふま	VII 評ℓ

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in was e	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	観光行政事務にかかる経費は必要最小限の執行となるよう、十分な審査を行っている。広域観光団体との連携においても、アーフターコロナに向け、スケールメリットを活かした観光促進を図っていく必要があることから、引き続き負担金の支出を行う。
「开发小刀」	☑ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		☑ 予算縮減			
了异众吹和朱	□ 他事業を統合	(統合事業名: —)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

, 1 >10	11-4 1-																	
事業名	3	福知山踊り	振興事業										事業=	<u>ا</u>	230130			
政策体		基本政策	8 市民一人ひと	りか	、時代の変	化を先取りし、地	域層	産業の発展に	貢献できるまち		政策目標	2 DX	を生かし	た商	業・サーヒ	ズ業の活	性化	
以果件:	木	施策名	2 市の特質を置	沓ま;	えたキラリと	光る観光戦略の	推進					•	施策=	<u>ا</u>	822			
事業担	当	所属	25050000 産業i	负策	部 産業観光	光課					所属長	山田	信義					
会計情	報	款	07 商工費	項	01	商工費	目		03 観光費		会計	01 一般组	会計 %	央算付	属資料	180		頁
計画期	間	開始年度	平成1年度	終	了予定年度	令和8年度	Į.	関連計画名						R4	現在の状況	兄 継	続中	
根拠法令	等	福知山ドッ	コイセまつり補助:	金交	付要綱、ドッ	コイセフェスティ	バル	補助金交付	要綱									
事業区:	分	□ 法定受	託事務 🗆	国府	莳補助事業	☑ 市単独	事業	€ □ 内部	邓庶務的事業	□ その	他	(2)
関連事	業													•		•	•	
11	+ -+ +	417																

爭某基礎情	報													
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	市内の各団体に対して福知 知山踊りの伝統を後世に伝 加者増加や観光誘客につな	えていく。また、「福知												
対象者	観光客及び市民			対象者数	10,500	単位あたりコスト	0.2							
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	定管理 ☑ 補助金3	交付 □	その他 ()							
委託先-実施主体等	福知山踊振興会、福知山ドッ	ー ロイセまつり実行委員	員会											
事業概要 (箇条書き)	【福知山ドッコイセまつり】 第 〇「福知山踊振興会」への補 【ドッコイセフェスティバル】	通知山町城央会、福州山ドウコイとようり美行委員会 「福知山ドッコイセまつり実行委員会」への補助金 「福知山踊振興会」への補助金 ドッコイセフェスティバル】 令和3年8月7日開催)市内の各団体からの要望により福知山踊りの講師を派遣する。												
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容									
	委託料	87	福知山踊り講師派遣委託											
主な支出に係る	負担金補助及び交付金	410	ドッコイセフェスティバル	運営補助金										
業務内容と経費														
		1												

|| 予算執行状況

		丁异		R2(評価前年	(唐)		R3(評価年	唐)		R4(本年月	E)	R5(專)	求年度)	
	1			102 (B) (M) (7)	1.945		110 (B) M -	2,706		111111111	2,706	110 (34)	7-7-Z/	2,206
予	_	補正予算			△ 1,580			0			0			0
算情	_	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小記	±(1)~(3)			365			2,706			2,706			2,206
_	1	一般財源			0			0			0			0
争算	2	国支出金			0			0			0			0
財源	3	府支出金			0			0			0			
内	4	地方債			0			0			0			
訳	(5)	その他特財			365			2,706			2,706			2,206
2tı	1	流充用額			0			0						
決算	2	配当予算			365			2,706						
情報	3	執行額			116			497						
TIA.		執行率			31.8%			18.4%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動爆託職員)	0.18	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			1,440			1,280			1,280			0
(予:	算執	タルコスト 行額+概算人件費)			1,556			1,777			1,280			0
		4. 7.1 57.44.01		福知山踊り振	興事業基金繰入			基金繰入金			41	0	38	
(N	王7 I — 1	な利用特財 1年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	受講者数		人	2048	/	1500	509	/	1500	397	/	1500	/	1500	1500
実績/目標	踊り参加者		人	10500	/	9000	0	/	9000	0	/	9000	/	9000	9000
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	派遣回数(単価	契約)		39	/	45	12	/	45	9	/	45	/	45	45
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		9.5			9.7			55.2				
実績/計画					/		27	/			/		/		福知山踊り振興事業
		単位あたり〓	コスト												

	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	市内の保育園や小学校等から福知山踊りを学びたいというニーズに応える事業であり、令和3年度は主に保育園や小学校、高校に対して講師派遣を行った。 福知山踊振興会と連携して若年層に対してアプローチを行うことは、本市の無形民俗文化財である福知山踊りを次世代に継承していくために必要であり、優先的に取り組むべき事業である。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	講師派遣にかかる経費は、福知山踊振興会への委託料だけであり、会場費用は受講者 負担のため最小限度の支出に努めている。 また、福知山踊りの指導とあわせて、踊りの起源となった福知山城築城や明智光秀につい	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	ての講話も行うことで、地域の歴史を知る機会も提供できた。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣回数、受講人数ともに目標には届かなかったが、8月に開催された「ドッコイセフェスティバル」に踊り指導を受けた学校が出演して練習の成果を発表した。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	会場には子どもの発表を見るため保護者が多数訪れ、幅広い世代が福知山踊りに接する機会となった。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評値 及び現状の課績	ス感染症の影響により各団体からの派遣依頼 頼が減っていることから、若い世代が福知山踊	10件程度派遣があり、参加総人数も2000人で推移していることから一定ニーズがある。令和3年が9件、参加人数は397人と、前年度に続き例年に比べて大幅に減少した。特に保育園、幼稚園りに接する機会が少なくなることが懸念される。	
		なや各団体に対して、感染症対策を十分に行って踊り指導をしていることを周知することで、派え	
改善策	加に努めていく。 また、ドッコイセフェスティバルやドッコイセまつ「	りなどの関連イベントの際に講師派遣の紹介を行うことで、踊りに関心のある層に対してもアプ	
		りなどの関連イベントの際に講師派遣の紹介を行うことで、踊りに関心のある層に対してもアプ	

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in well a	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	 本市の伝統文化である福知山踊りを保存、継承するために必要な事業であるため、引き続き、学校や団体等に対して福知山踊
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	りの講師派遣を実施する。また、ドッコイセまつりは集客力の高いイベントであり、本市の観光入込客数にも大きく寄与している
7 37 24 17 25 1	☑ 事業の見直しなし	ことから、実行委員会に対して補助金を交付する。

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		☑ 予算縮減			
了异众吹和朱	□ 他事業を統合	(統合事業名: —)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

(単位:千円)

事業属性													
事業名	観光案内所	管理運営事業							事	業コード 230	0131		
非無共変	基本政策	8 市民一人ひと	よりが、時代の変化	ごを先取りし、地 ^は	域産業の発展に	貢献できるま	ち	政策目標	2 DXを生	かした商業・	サービス	業の活性化	5
政策体系	施策名	2 市の特質を置	踏まえたキラリと光	さる観光戦略の推	推進		•		施	策コード 822	2		
事業担当	所属	25050000 産業i	政策部 産業観光	課				所属長	山田 信義	•			
会計情報	款(07 商工費	項 01 7	商工費	目	03 観光費		会計 0	1 一般会計	決算付属資	資料	180•182	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			•		R4現在	生の状況	継続中	2
根拠法令等		•								•			
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独署	事業 □ 内部	邓庶務的事業	□ その	他 ()
関連事業													
事業基礎情	 報												
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の玄関	ロであるJR福知	山駅北口に観光3	案内所を設置すん	ることで、観光客	に対して福知	山観光の案	内やサービ	ごスを提供し、	満足度の向]上を図る	0	
対象者	観光案内所	来訪者				対象者数	12,5	04	単位あたり	リコスト		0.8	
実施方法	□ 直接実活	施 🛭 業利	務委託 □	指定管理	□ 補助金交付		その他	(•)
委託先·実施主体等	(一社)京都	府北部地域連携	都市圏振興社福	知山地域本部、	アムス・セキュリ	ティサービス	(株)						
事業概要 (箇条書き)	•観光情報の	所への来場者に家の発信業務 の発信業務 らリーの管理業務											
	支出に係	系る主な費目	支出実績(R3))			主力	は業務内容					

7,634 観光案内所管理運営業務、観光案内所警備業務

99 光熱水費等

411 土地建物借上料

513 電気代相当額

Ⅲ 予算執行状況

主な支出に係る 業務内容と経費

需用費

委託料

使用料及び賃借料

負担金補助及び交付金

	Σ	了		R2(評価前:	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	F)	R5(要求年度)				
	_	当初予算		res (B) limitor	8,625		110 (B) M -	8,617		1110-1-6	8.796	110 (34)	7-12/	9,744		
	_	補正予算			0,020			0,017			0			0,711		
	_	繰越予算			0			0			0	0				
算情報		前年度繰越			0			0			0					
		次年度繰越			0			0			0					
	小言	†(① ~ ③)			8,625			8,617			8,796			9,744		
3 ,	1	一般財源			0			0			0			0		
予算財源	2	国支出金			0			0			0			0		
財源	3	府支出金			0			0			0	0				
	4	地方債			0			0			0			0		
	_	その他特財			8,625			8,617			8,796			9,744		
	_	流充用額			0			80								
-:-		配当予算			8,625			8,697								
	-	執行額			8,551			8,657								
		執行率			99.1%			99.5%								
人概	_	従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.25	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/ 0	.00		
工算	2	概算人件費			2,000			1,280			1,280			0		
(予算	算執1	タルコスト 行額+概算人件費)			10,551			9,937			1,280			0		
	٠. ـ	- Til m 4+ D.1		観光案内所	「管理運営事業基金	基金繰入金基金繰入金					7,15	8	38			
(N	王を	よ利用特財 年度実績値)			種類				実績金額		決算付属資料		頁			

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
実績/目標	推奨土産品登録	数	個	158	/	166	173	/	166	168	/	166	/	166	166
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	観光案内所開所	f日数	日	359	/	359	340	/	365	361	/	361	/	361	365
(アウトプット)		単位あたりコ	スト		21.9			25.2			24.0				
実績/計画					/		29	/			/		/	観光	案内所管理運営事業
		単位あたり二	コスト		·			·			•				

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	年末年始を除く期間中、午前9時から午後6時まで開所し、本市を訪れる観光客に対して、観光情報や観光スポット、飲食店等の情報を提供することで観光客の満足度向上に努めた。旅前の観光客に対してもHPやSNSで情報発信を積極的に行っており、本市の観光面における必要性は高い。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	委託業務として観光案内所の管理運営業務の経費を必要最小限となるよう十分精査している。平成30年度から自己資金獲得のため、観光協会が土産品販売を開始しており、森の京都DMO等が福知山でのツアーを設定した際に土産購入先として立ち寄り箇所に加えるなど、連携して収入の確保を図っている。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	でなる。たけからてなどの時候を自己している。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が長期間発令されたため、観光入込客数が目標に及ばなかった。 大河ドラマの放送を機に種類や内容が充実した土産品を市民向けにも企画販売すること	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	で、新たな需要の掘り起こしを図った。 年末年始を除く期間、開所しているメリットを生かして、ICOCAキャンペーンの抽選会場と しても活用した。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	れたため、来訪者が前年度から半減した。(来訪福知山の玄関口である福知山駅に案内所を構えに対応している。一方で、観光キャンペーンや旅行会社との商談会行っていく必要がある。	加したが、令和3年度は新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言やまん延防止等重点者数:平成30年度15,746人、令和元年度24,728人、令和2年度22,525人、令和3年度12,504人 ており、観光情報の提供や土産品の購入、飲食店、交通手段の案内等、当地を訪れる観光 会の中止により、福知山の観光を直接的にPRする機会が減っているため、SNSを活用したよ) 客からの幅広いニーズ り積極的な情報発信を
改善策	ロモーションを行うことで、本市への誘客を促して	での観光イベントが徐々に再開されていることから、市外で開催されるイベントに行政と観光が いく。	品会で連携して参加し ブ
VI 二次評価(₹	事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in at all	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/1/1・	観光客に対して本市の観光情報等を提供しており、本市の観光面における必要性は高いため、引き続き案内所を運営してい く。
1 37 30 73 51	☑ 事業の見直しなし	

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	☑ 予算拡充	□ 予算縮減			
了异众吹和米	□ 他事業を統合	(統合事業名: —		□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

(単位:千円)

1 争未腐性																
事業名	観光パンフロ	レット作成事業										事第	ロード	230139		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	_りが、時代	の変化を	先取りし、地	域産	業の発展に	貢献できるま	きち	政策目	標 2	DXを生か	した商	業・サービ	ス業の活	性化
以束件米	施策名	2 市の特質を置	踏まえたキ	ラリと光る	観光戦略の	推進						施領	(カード	822		
事業担当	所属	25050000 産業i	政策部 産	業観光課						所属县	€ 山	田信義				
会計情報	款)7 商工費	項	01 商二	工費	目		03 観光費		会計	01 -	-般会計	決算付	属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成20年度	終了予定	生年度 **	令和8年度	阝	博連計画名						R4	現在の状況	他事	業へ統合
根拠法令等				·									·			
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助	事業	☑ 市単独	事業	□ 内部	『庶務的事 第	美 □ その)他	()
関連事業																
事業基礎情	 報															
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の魅力 PRと誘客を	を紹介する観光 :図る。	バンフレッ	トを作成し	、市内外の勧	見光力	施設や道の駅	等に配架を	行うほか、旅	行会社と	≤の商語	淡会や観光	ミキャン	ペーン等で	活用する)ことで、
対象者	観光入込客	!					3	対象者数	594,	167	i	単位あたり	コスト		0.0	
実施方法	☑ 直接実	施 □ 業和	务委託	口 指第	定管理		補助金交付		その他	()
委託先·実施主体等																
事業概要 (箇条書き)	増刷を行った 総合パンフレ 鬼パンフレッ	光動向、本市のフた。 た。 レット:発行部数 ット:増刷部数 5,0 トは道の駅や周i	16,500部()00部	日本語、英	英語、簡体字、	、繁化	本字、韓国語		含パンフレット)をリニュ	L一ア川	レ発行した	ほか、タ	退に特化し	たパンフし	レットの
	支出に係	系る主な費目	支出実	績(R3)					主	な業務内	容				·	
	需用費			2,126	印刷製本費	,										
主な支出に係る	役務費			5	広告料											
業務内容と経費																
					1											

Ⅲ 予算執行状況

	初予算 訂正予算			2,471							R5(要求年度)			
				2,471			2,899			6,630			0	
3 繰	++ / 			0			0			0			0	
	越			0			0			0			0	
	前年度繰越			0			0			0			0	
	次年度繰越			0			0			0				
\計((① ~ ③)			2,471			2,899			6,630			0	
				0			0			0			0	
							0			0			0	
										0			0	
										•			0	
										6,630			0	
		0.50	/			/		0.00	/	0.00	0.00	<u>/</u>	0.00	
2) 概	ł算人件費			4,000			2,880			0			0	
				5,429			5,011			0			0	
,	. em 4+ 0.1		観光パンフ	レット作成事業基金	企繰入		基金繰入金			2,0	54	38		
		特財名称 観光パンフレット広告料収入等				種類 雑入			実績金額		35 決算付属資料	44	頁	
	一国府地 そ流 配 幹 幹従職棚 ク 領 和		次年度線越 計(①~③) 一般財源 ② 国支出金 ③ 府支出金 ④ 地方債 ⑤ その他特財 ○ 流充用額 ② 配当予算 ③ 執行額 ④ 執行率 ○ 従事職員数 (正商用 / 伊書和側性配用) ② 使用人件費 ・	次年度線越 次年度線越 計(①~③) 一般財源 国支出金 府支出金 地方債 その他特財 流充用額 配当予算 執行額 執行率 従事職員数 (正規 / 非素制網託規制) 供育額・概算人件費 なが利用特財 は数・パンフ はな利用特財 は対しております。	次年度線越	次年度繰越 0 計(①~③) 2,471 ① 一般財源 0 ② 国支出金 0 ③ 府支出金 0 ④ 地方債 0 ⑤ その他特財 2,471 ① 流充用額 0 ② 配当予算 2,471 ③ 執行額 1,429 ④ 執行率 57.8% ② 従事職員数 (定職員 / 海末海嶼江服員) 0.50 ② 概算人件費 4,000 ・タルコスト (独行額・概算人件費) 4,000 ・タルコスト (独行額・概算人件費) 観光パンフレット作成事業基金繰入 は次パンフレット作成事業基金繰入	次年度緑越 0 2,471	次年度線越 0 0 0 0 0 1 1 1 1 2,899 2,471 2,899 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	次年度線越 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	次年度線越 0 0 2,471 2,899 一般財源 0 0 0 国支出金 0 0 0 卸売債 0 0 0 地方債 0 0 0 地方債 0 0 0 市支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 0 0 市支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 0 0 市支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 0 0 市支出金 0 0 0 0 0 市支出金 0 0 0 0 0 市支出金 0 0 0 0 0 0 0 市支出金 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	次年度機越 0 0 (1) ~ (3) 2,471 2,899 6,630 0 一般財源 0 0 0 2 国支出金 0 0 0 3 府支出金 0 0 0 0 地方債 0 0 0 3 その他特財 2,471 2,899 6,630 3 執行額 1,429 2,131 4 執行率 57.8% 81.9% 2 従事職員数 0.50 / 0.00 0.36 / 0.00 0.00 / 0.00 2 概算人件費 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 4,000 2,880 0 4 (20) 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 4,000 </th <th> 次年度線越</th> <th> 次年度縁終</th>	次年度線越	次年度縁終	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	観光キャンペーン	ン	回数	10	/	10	1	/	10	0	/	10	/	10	10
 (アウトプット)		単位あたりコ	スト		44.9			1429.0							
実績/計画					/		31	/			/		/	観光バ	ンフレット作成事業
		単位あたり〓	コスト		•						•				

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	時点修正で増刷をしていた総合観光パンフレットのリニューアルを行った。既存の観光スポットの紹介だけではなく、農林業振興課が認定している「エエもん」、体験型コンテンツを販売する「北色」等の新たな情報も盛り込んだ内容とした。 若い世代はSNSで観光情報を収集するが、年配の世代は紙での情報収集を求めており、観光パンフレットを作成することは必要である。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	パンフレットの印刷製本は入札により決定し、必要最小限の支出になるよう努めたほか、 誌面に広告枠を設けることで歳入の確保を行った。 作成したパンフレットは府内の観光施設や道の駅等に配架し、本市の観光情報を効果的	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	に発信した。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	新型コロナウイルス感染症の影響もあり観光キャンペーンでの配布はできなかったが、京 都総合観光案内所や味夢の里のほか、近隣市町の観光施設に配架を行った。 本市在住の漫画家・こうの史代さんに以前描いていただいたイラストを表紙に掲載すること	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	で、話題性を作った。他課が行っている事業も掲載することで、本市の観光要素を有効に活用した。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	また、観光パンフレット以外の情報発信媒体につ	ンフレットの配架を引き続き行っていき、情報を発信する必要がある。 いても検討していく必要がある。	
改善策	光情報発信事業」を新たに実施する。	なく、JRの広告媒体等も活用した情報発信を行い、京阪神エリアから本市への観光需要の喚託することで、観光客のニーズを的確に捉えた内容にするとともに、近隣市町の観光協会や	
VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in was e	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	☑ 統合/組換	 観光パンフレットの作成だけではなく、JRの広告媒体等も活用した情報発信を行い、京阪神エリアから本市への観光需要の喚
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	起、誘客促進を図るため、「観光パンフレット作成事業」は廃止のうえ、令和4年度から「観光情報発信事業」を新たに実施してお
F####/J#	□ 事業の見直しなし	り、令和5年度においても、「パンフレット作成」及び「広告媒体を活用した情報発信」によって効果的な観光誘客を図る。

VIII 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	☑ 予算縮減					
了异众吹和朱	□ 他事業を統合	(統合事業名: —		□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)		

単位あたりコスト

1500.0

0.0

٠,	事	業属性	•	•	, , , ,	•	4.0	•	1	, •	- •		•					(単	位:千円)
_		業名	福知山お城ま	このり支援事業	<u> </u>											事業コート	2301	47	
			-	市民一人ひ)変化を	先取りし	、 地域産	業の発展	まに貢献	げできるま	きち	政	策目標	2 DXを			<u>∵</u> ├一ビス業の湯	舌性化
	政:	策体系		2 市の特質を											Ī	施策コート	822		
	事	 業担当	所属 2	25050000 産業	政策部 産業	観光課							Ē	所属長	山田信	 :義			
	会	計情報	款 07	商工費	項	01 商工	費	目		03	観光費		会	計 01	一般会計	計 決算·	付属資	料 -	頁
		画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年	度	和8年		l 連計画名	2							R4現在(の状況 糸	継続中
		法令等	福知山お城ま	つり事業補助															
	事	業区分	□ 法定受託] 国府補助事	**	口市	単独事業	п	内部度	務的事業	<u> </u>		()
	関	連事業						1 2-1 7 71			33.1.3.1.41		_ (,
	事	業基礎情	· 報																
	事	業目的 現に向けて 果たす役割)	春の福知山をイベントを通じ							市のシン	バルで む	あり、明	智光秀が	築城した	:「福知山	城」を市外	に向け	て広くPRする	る。また、
	交	象者	観光客及び市	ī民						対象	者数		30,000		単位あ	たりコスト		0.0	
	実	施方法	□ 直接実施	. 口業	務委託	□ 指5	管理	Ø	補助金3	5付		その作	也 ()
委	託先·	実施主体等	福知山お城ま																
		業概要 条書き)	・新型コロナウ	ぱまつり」の開付ける。	を拡大のため、	. 中止	出する。												
			支出に係	る主な費目	支出実績	(R3)							王な業	務内容					
		[出に係る]容と 経費																	
	*	 ·算執行状	<u>.</u> ∵7																
	区	分		2(評価前年度	E)		R	3(評価年	度)				R4(本年	(F)			R5(要求年度)	
	_	 当初予算		- (11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	3.000			VIII		3.100					3,100				3,100
予		描正予算			△ 3,000				Δ	3,100					0				0,100
算情					0						(0
報		前年度繰越			0					0					0				0
		次年度繰越			0					0					0				0
	小計	(① ~ ③)			0					0					3,100				3,100
_		一般財源			0					0					0				0
予算	2 1	国支出金			0					0					0				0
財源	3)	 府支出金			0					0					0				0
内	4	地方債			0					0					0				0
訳	⑤ ·	その他特財			0					3,100					3,100				3,100
2h	① :				0					0									
決算	2 i	配当予算			0					0									
惰報	3	執行額			0					0									
		執行率			0.0%														
人概		注事職員数 議員/非常動囑託職員)	0.00	/	0.00	0.	04	/	0.0	00	0.	04	/	0.	00	0.00)	/	0.00
工算	2 7	既算人件費			0					320					320				0
		ルコスト			0					320					320				0
(7	· 异	額+概算人件費)																	
(1)		利用特財 F度実績値)	特財名称					種類					実績金額			決算	付属資料	¥	頁
<u> </u>	/ 業	績指標																	
		果実績	指	* **	単位		R1			R2			R3			R4		最終目	
	(ア	アトカム) ア日標	イベント入込		人	10000	/	12000	0	/	12000	0	/	12000		/ 1	2000	1200	00
	~ 49		観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	59416		942000			42000	9420	
			指	標	単位		R1			R2			R3			R4		最終目	目標
	活	動実績	光秀行列		回	1	/	1	0	/	1	0	/	1		/	1	1	
	(アウ	トプット) /計画		単位あ	たりコスト		3000.0			0.0									
	大村		開催日数		日	2	/	2	0.0	/	2	0	/	2		/ +=	20 1	to tot ± ~ 21	+ 122 + 2

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	福知山に春を告げる「福知山お城まつり」は、本市のシンボルである「明智光秀ゆかりの福知山城」を広くPRし、イベントを通じて本市の魅力を発信し、集客を図ることで観光消費額の向上にもつながることから、福知山商工会議所を事務局とする実行委員会を組織し	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	オール福知山の体制で取り組むことが必要である。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		□高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	事務局である福知山商工会議所は、飲食店をはじめ多くの事業者との連携も強く、より多くのイベント出店者の確保や市民による盛り上げの効果が期待できる。 また、協賛金を募集することで自主財源の確保と協賛企業のPRを積極的に行っている。	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	福知山の春を代表するイベントとして定着しており、毎年多くの入込客がある。大河ドラマで多くの注目を集めた「明智光秀」や「福知山城」を発信し、本市のプロモーションや誘客に 資するイベントとして有効である。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
		影響により開催されなかった。令和3年度も開催に向けて検討を進めたが、新型コロナウイル ント開催のノウハウの継承やイベントに対する関心が薄くなることが懸念される。	ス感染症拡大の影響に
定性的な面も			
た性的な関も 含めた自己評価 及び現状の課題			
)あるイベントであり、2日間にわたって開催されることから出店者にとって魅力的である。 けるよう、広域観光団体の広報媒体で積極的な発信に努めるとともに、より魅力的なイベントに	なるよう、実行委員会
改善策			
VI 二次評価(₹	事業所属外による他部署評価)		
有体を圧し い。		审告57万内协议 们参/从务 审告办?\	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
	 こた次年度事業方針		
All 81 Im 5 (2) 4 X	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
	□ 事業の見直し		
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止		
「开兴小八哥	☑ 事業の見直しなし		
	 果		
	☑ 現状維持 □ 廃止/休止	□ 予算拡充 □ 予算縮減	
予算反映結果	□ 他事業を統合 (統合事業名: —) □ 他事業へ統合 (統合先事業名: —)

(単位:千円)

	. 272	_		
3	丵	届	ル土	

4 >16,104 100																	
事業名	「肉のまち	福知山」事業										寻	業コー	ド 230186	6		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りが	、時代の変化	化を先取りし、地	域産	業の発展に	貢献できるまち		政策目	標 2 [OXを生	を生かした商業・サービス業の活性化				
以泉浄ボ	施策名	2 市の特質を設	沓まえ	たキラリとシ	光る観光戦略の 排	隹進					•	挤	施策コー	ド 822			
事業担当	所属	国 25050000 産業政策部 産業観光課 所属長 山田 信義															
会計情報	款	07 商工費	項	01	商工費	目	03 観光費			会計	01 —	设会計	決算	打属資料		-	頁
計画期間	開始年度	平成29年度	終	了予定年度	令和3年度	具]連計画名							R4現在の	伏況	廃止/休.	F
根拠法令等	「肉のまち	福知山」事業補助	金交	付要綱													
事業区分	口 法定受	託事務 ☑	国府	補助事業	☑ 市単独	事業	口内部	部庶務的事業	□ その)他	()
関連事業																	
事業基礎情	報			•				•			<u> </u>					•	

事業基礎情	報												
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	かつて本市に西日本の三大家畜市場があり、全国の流通を支えた歴史的な背景から、現在も精肉店や焼肉店を中心に様々な「肉」を扱った店舗が多く存在している。食文化としての肉を新たな観光コンテンツとし「肉のまち福知山」をPRすることで観光振興による地域活性化を図る。												
対象者	近隣市町の住民及び福知山	市民		対象者数	10,000	単位あたりコスト	0.1						
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	孫委託 □ 指定	『管理 ☑ 補助金3	交付 □	その他 ()					
委託先·実施主体等	福知山肉まち協議会												
事業概要 (箇条書き)	福知山肉まち協議会に対する活動支援経費新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止												
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容								
主な支出に係る													
業務内容と経費													

|| 予算執行状況

		区	分		R2(評価)	前年度)			R3(評価年	度)		R4(本年原	E)		R5(要	求年度)	
	(1	D #	当初予算				1,255			1,400			C				(
予	(2	2) 補	非正予算				0			0			C				(
算情報	(3	多額	操越予算				0			0			C				(
報			前年度繰越				0			0			C				(
			次年度繰越				0			0			C				(
	/]\	計((1~3)				1,255			1,400			C)			(
予	(1	D -	−般財源				0			0			C)			(
算	2	2) 国	国支出金				600			700			C)			(
財源	3	3)府	守支出金	0						0			C	0			(
内訳	-		也方債							0			C				(
ii/\	E	う そ	その他特財	655			655	700					C				(
*	(1	D 济	充用額				0			0							
決算情	2	2) 西	2当予算				1,255			1,400							
情 報	3	3) 幇	执行額				661			0							
			执行率				52.7%			0.0%							
人概	1	(正職員	事職員数 員/非常動爆託職員)	0.18	/		0.00	0.14	/	0.00	0.00	/	0.00	0.00		/ 0	.00
工算	2	2) 根	既算人件費				1,440			1,120			C				(
卜	算章	タ ^{執行額}	ルコスト (1) (世界)				2,101			1,120			C				(
(1)	主	な利 · 1 年	川用特財 :度実績値)	特財名称					種類			実績金額		決算(寸属資料		頁
(1	u –	1年	· 皮美領値)														

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	0	942000
実績/目標	イベント参加者数		人	10000	/	3000	0	/	3000	0	/	3000	/	0	3000
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	実施回数		口	1	/	1	0	/	1	0	/	1	/	0	1
(アウトプット)		単位あたり	スト		1800.0			0.0							
実績/計画					/		35	/			/		/	「肉	のまち福知山 事業
		単位あたり	コスト		,						•				

	項	E E	手 美 担 当 所 偶 内による目 に 評価の観点	評価の観点に寄り	Fした取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
	必要	1 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた・民間事業者や市民が自ら実施するこ	「肉のまち福知山」を発信するイベントを開催した 店舗の売り上げやPRに寄与している。 開催を希望する声があり検討を進めたが、新型 中止とした。		1〜27 切其際は
:	20 30	. 11	できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か			□ 高い
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	イベントが中止となったため、福知山肉まち協調	養会に対して補助金を支出しなかった。	☑ やや高い
:	効率	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか			□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか			□ 低い
			・成果目標は理にかない、実績は適り 把握・測定されているか	令和元年の開催時には、目標の3倍以上の来り 寄与した。	易者があり、本市の観光入込客数に大きく	
	有效	性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか			
			・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか			
				大の影響によりイベント「MEET×MEATフェスティバル 駅北口公園)からより広い会場(三段池公園周辺)での		
含		な面も 己評価 :の課題				
				したが、「MEET×MEATフェスティバル」は1日で1万人 は店を各事業者に呼びかけるなどして、「肉のまち福知		
,	改善	策				
VI	二岁	火評価(事	事業所属外による他部署評			
*	後評価	コメント		事業評価実施後に記載(対象事	業のみ)	
<u> VII</u>	評句	西をふまえ	た次年度事業方針			
			方針区分 □ 事業の見直し	評価を踏	まえた見直し内容	
	担当記		□ 新未の兄直し □ 統合/組換			
	及使	y	☑ 廃止/休止			
	-, -		□ 事業の見直しなし			
VIII	予算	草反映結	 果			
4	美 算反眼	快結 里	□ 現状維持	□ 予算拡充 □ 予算縮減		
	7F4X4		□ 他事業を統合 (統合事業名:	-) 口 他事業へ	統合 (統合先事業名: —)

福知山下	了令	和4.	千度事	移事	菜評	価シ	· — }	•				(単位 : -	千円)
事業属性			,		•							(+12)	111/
事業名	ふくちやませ	ナードプレイスツー	−リズム事業							事業コード	230191		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	:りが、時代の変化	を先取りし、地	域産業の発展に	貢献できる	きち	政策目	標 2 DXを	生かした酢	葉・サービス	く業の活性化	Ł
以来评示	施策名	2 市の特質を踏	沓まえたキラリと光	る観光戦略の推	推進		•			施策コード	822		
事業担当	所属	25050000 産業函	攺策部 産業観光詞	果				所属長	山田 信	義			
会計情報	款	07 商工費	項 01 商	i工費	目	03 観光費		会計	01 一般会言	決算	付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名					R	4現在の状況	継続中	†
根拠法令等													
事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府補助事業	□ 市単独	事業 口内	部庶務的事業	美 □ その	他	()
関連事業													
事業基礎情	報												
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)		、アクティビティを	ナの観光のあり方で 動画で可視化し、										
対象者	観光入込客					対象者数	594,	167	単位あ	たりコスト		0.0	
実施方法	□ 直接実	施 🛭 業務	務委託 □ 排	定管理	□ 補助金交付	t 🗆	その他	()
委託先·実施主体等		イスツーリズム協											
事業概要 (箇条書き)	地域資源(の磨き上げによる	での体験型コンテンタ 体験型コンテンツの めの動画撮影業務	の造成	言及び販売業務								
	支出に	系る主な費目	支出実績(R3)				主	な業務内	容				
	委託料		4,99	4 業務委託費									
主な支出に係る													
業務内容と経費													

|| 予算執行状況

		区分		R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	E)	R5(要	求年度)	·
	1)当初予算			0			5,000			3,917			3,917
予	2)補正予算			0			0			0			0
算情報	3)繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			C
		次年度繰越			0			0			0			C
	小	計(①~③)			0			5,000			3,917			3,917
予	1)一般財源			0			0			0			C
算	2)国支出金			0			2,500			1,958			1,958
財源)府支出金			0			0			0			C
内訳	_)地方債			0			0			0			C
- N	(5)その他特財			0			2,500			1,959			1,959
*	1)流充用額			0			0						
決算情報	-	配当予算			0			5,000						
帽報	3	執行額			0			4,994						
)執行率			0.0%			99.9%						
人概) 従事職員数 (正職員 / 非常動嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.96	/	0.00	0.96	/	0.00	0.00	/ 0	.00
工算	2)概算人件費			0			7,680			7,680			0
卜·	算朝	タルコスト (行額+概算人件費)			0	ı		12,674			7,680			0
	_	4× T/1 07 4+ 0.1		ふくちやまサード	プレイスツーリズム事業(地)	方創生推進交付金)		商工費国庫補助	金		2,2	47	20	
(N		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	ふくちやまサ-	ードプレイスツーリズム	事業基金繰入	種類	基金繰入金		実績金額	2,4	97 決算付属資料	40	頁

成果実績	指	標	単位	R1	R2		R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光消費額(販	売額)	千円	/	/	1137	/	5000	/	5000	50000
実績/目標				/	/		/		/		
	指	標	単位	R1	R2		R3		R4		最終目標
活動電纜	体験型コンテン	ソ数	個	/	/	11	/	10	/	20	50
活動実績(アウトプット)		単位あたり=	スト				454.0				
実績/計画	観光交流プロモ	ーション	回	/	37	1	/	2 چې	くちやまサー	ドプレ	イスツー ^も リズム事業
		単位あたり〓	スト				4994.0	•			

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの	新型コロナウイルスの影響や旅行スタイルの多様化により、現地でしか体験することができない観光コンテンツの需要が高まっている。観光事業者や旅行業者等を構成員とする サードプレイスツーリズム協議会にコンテンツの造成を委託することは、本市が選ばれる 観光地となるために必要なものである。	
必安性	できない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	商品化するには、地域資源の把握及び体験事業者の発掘・設置等、観光への知識のみならず地域とのつながりが必要であることから、市外の事業者ではなく、市内事業者や旅行業者等が構成員であるサードプレイスツーリズム協議会に委託することで実施した。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	令和3年度に体験コンテンツを11コンテンツ造成し、円滑に地域資源の発掘、商品化を行った。商品化にあたっては、協議会の構成員である旅行業者から最新のニーズを把握し、より魅力的な内容に仕上げることができた。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	テンツは全てプロモーション動画を撮影し、ポータ また、「京都 福知山ジビエ・オンラインツアー事業 連携も図れた。 新たな旅行ニーズに対応するための基盤を構築	ど、福知山でしか体験することができない観光コンテンツの発掘を行い、11コンテンツを商品イルサイト「北色」でコンテンツの魅力発信を行いながら販売した。 」で催行したオンラインツアーを移動自粛要請解除後に現地でも体験できるようコンテンツ化することができた一方で、新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言やまん延防止等重いら、コンテンツのプロモーションが十分実施できなかったため、目標の販売額は達成できなが	を行うなど、他事業との 「点措置が長期間発令さ
改善策	令和4年度はコンテンツ販売額に応じて補助率が	、販売額の増加につながるためのプロモーションに比重を置いた事業を展開していく。 ・変動する成果連動型補助金を創設した。 るため、プロモーション方法はサードプレイスツーリズム協議会と十分に協議を行いながら、	海の京都DMO、森の京
VI 二次評価(₹	事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
10 At 200 a	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	 新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、移動や旅行が活発になっているため、令和4年度から成果連動型補助金制度を創
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	設し、事業者の創意工夫を引き出しながら観光誘客を図ってきた。令和5年度においても、継続して、成果連動型補助金によっ
I #SAME	☑ 事業の見直しなし	て体験型観光のプロモーションを展開し周知を図る。

予算反映結果	☑ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	口 予算縮減			
了异众吹帽木	□ 他事業を統合	(統合事業名: —		□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 今和4年度事務事業評価シート

। जब		事業属性	7.4	1-7	73	7	10° F	来红网			1-					(単位	立:千円)
		事業名	京都 福知山ジ	ビエ・オンライ	インツアー									事業コード	230197		
			基本政策 8	市民一人ひと	とりが、時代の	変化を労	こ取りし、地域の	産業の発展に貢献	状できるま	きち	政	策目標	2 DXを	生かした商	業・サービ	ス業の活	性化
	政	策体系	施策名 2	市の特質を置	踏まえたキラ'	ノと光る観								施策コード	822		
	事	業担当	所属 250	050000 産業i	政策部 産業	観光課					月	所属長	山田 信	 義			
	会	計情報	款 07 配	商工費	項	01 商工	費目	03	観光費		会	計 01	一般会言	決算付	属資料	182	頁
	Ħ	·画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年	度	和3年度	関連計画名			ı			R4	現在の状況	廃止	/休止
	根据	処法令等															
	事	業区分	□ 法定受託事	事務 □	国府補助事	工	☑ 市単独事業	【 □ 内部庶	務的事業	€ □	その他	()
	関	連事業	ふくちやまサー	ドプレイスツー	ーリズム事業												
11	導	事業基礎情	報														
(事	業目的 実現に向けて 果たす役割)	本市が進めている	部門横断的に	行う起点とす	る。新型	コロナウィルス	Eエもん認定品の 感染拡大が長期 品での集客やふる	化する中	、ジビコ	[オンライ]	ンツアー	を実施す	ることにより	広くその内	容を告知	
	Ż	対象者	観光入込客数					対象	2者数		594,167		単位あ	たりコスト		0.0	
	実	施方法	□ 直接実施	☑ 業科	務委託	□ 指定	管理 🗆	補助金交付		その他	j ()
委	託先	-実施主体等	ANAあきんど株	式会社京都	支店												
		業概要 条書き)	・オンラインでの ・データの管理 ・業務の管理及			ビエハン	ター・健太郎と	行く ANAオンラィ	インツアー	-」~福ź	知山・夜久	、野の魅	力をANA	CAとともに	再発見する	る旅∼	
			支出に係る	主な費目	支出実績						主な業	務内容					
			委託料			1,100	業務委託										
		友出に係る 内容と経費															
	** 135 F	7分と社員															
		2 ADT 41 2- J1	` `\r7														
	<u> 7</u>	予算執行状 分		(評価前年度)	`		R3(評価年	= stc \			R4(本年度	= \			R5(要求	= et= /	
	_	 当初予算	NZ.	(計画制十次。	0		1/3/日本	-1 92 7		•	17(A)+10	L /	0		N∪(女小 -	十尺)	0
予	_	補正予算			0			0					0				0
算	-	繰越予算			0			0					0				0
情報	9	前年度繰越			0			0					0				0
		次年度繰越			0			0	1				0				0
	小計	·(1)~(3)			0			0)				0				0
_		一般財源			0			0					0				0
予算	2	国支出金			0			0)				0				0
財源	3	府支出金			0			0					0				0
内	4	地方債			0			0)				0				0
訳	⑤	その他特財			0			0)				0				0
2tı	1	流充用額			0			1,100									
決算	2	配当予算			0			1,100									
惰報	3	執行額			0			1,100									
	_	執行率			0.0%			100.0%									
人概		従事職員数 職員/非常動嘱託職員)	0.00	/	0.00	0.5	2 /	0.00	0.0	00	/	0.	00	0.00	/	0	.00
工算	2	概算人件費			0			4,160					0				0
		プルコスト f額+概算人件費)			0			5,260					0				0
()	井 刊1]	銀*似井八計貝/										l					
(N		利用特財 年度実績値)	特財名称				 種類 				実績金額			决算付 ——	属資料		頁
IV	第	美績指標															
	成	果実績	指	標	単位		R1	R2			R3			R4		最終目標	票
		ウトカム) 夏/目標	ツアー参加者		人		/	/		67	/	270		/			
	~*	A/ HTM					/	/			/			/			
			指	標	単位		R1	R2			R3			R4		最終目標	票
		動実績	販売促進活動		種		/	/		5	/	5		/			
	(ア	ディステン フトプット) 夏/計画		単位あれ	たりコスト						220.0						
	~**	A/ NI E					/	39 /			/		京都	富知山ジヒ	ヹェ・オ	ンライン	<u> /ツア-</u>
				単位あれ	たりコスト												

IJ	i 🗏	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必	要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か	日本全体の課題でもあり、本市も例外でない「獣害対策」にスポットを当て、市民及び全国に向け、現状を発信できた。そこから派生する「ジビエ」という「食」を通じ観光促進につなげることができた。 今後さらに「ジビエ」に注目し、民間事業者が自ら各種取り組みをできるように推進していく。 会後さらに「ジビエ」に注目し、民間事業者が自ら各種取り組みをできるように推進していく。 農林業の抱える「獣害」と、コロナウイルス感染症対策で苦戦している「観光」を結びつけることにより総合的な課題解決を目指すために、優先的に取り組むべき事業であった。	□ 高い
勃	率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	ANAグループを通じた情報発信(ANAメールマガジン・LINE・アプリバナー及び掲示板掲載)を会員180万人に対し実施した。今回の委託業務の中で効果的な情報発信ができた。	✓ やや高い□ やや低い□ 低い
有	効 性	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	集客目標270人に対し集客67人と目標数には届かず集客には課題を残したが、遠方(北海道)からの参加もあり、またアンケート結果から「福知山の魅力が伝わった」「是非福知山を訪れたい」等、ポジティブな意見を多くいただいた。 事業実施後はジビエフェア出店数増加、ジビエ体験型ツア一設定、ふるさと納税返礼品出品、エエもん食事会での提供などにつながり、経費以上の効果を得ている。また、当ツアーを先行事例とするDMOでのオンラインツアー設定など展開が広がった。	
含め	E的な面も た自己評価 見状の課 題	歩を踏み出せた。 観光としては、当ツアーを通じ全国に地域の課題 組みができた。農林業としては、農業従事者の生物等被害の減少のほか、狩猟者の新たな収入派 また、市民に対し、取扱のとやま」を通じ、現在は	抱えている課題、取組み及び当事業展開を広く発信することができた。さらには、地元飲食店 ふくちやま」としての新たな取組みも進め、京都府中丹広域振興局が実施する「ジビエフェア」「	を行うなど継続的な取り 見を行うことにより、農作 (3店)の協力を得て「ジ
·	善策	ではあるが、アフターコロナを見据え、「ジビェ」が国内向けには、引き続き地元体験型ツアー「北色シェフと地元事業者(ジビエを含む地元生産者)と	注手段だったと考えるが、今後はより「リアル」での展開を検討する。「ジビエ」という比較的国内 が高級食材として流通する欧州などの訪日観光客への展開なども視野に入れて、今後の展開 ら」での展開を強化するとともに、「ふるさと納税」への出品促進や、農林業振興課と協力し、全 とのマッチングツアーなどの企画を検討していく。	を検討していく。
VI 3	二次評价	西(事業所属外による他部署評価)		
事後	呼価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

VII 計画をいまた	たの十尺手来カリ	
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
17 W 200 0	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、オンラインを活用した令和3年度限りの事業として実施した。「ジビエ」という比較的
及び 予算要求方針	☑ 廃止/休止	国内では認知度が低い素材ではあるが、アフタ―コロナを見据え、「ジビエ」が高級食材として流通する欧州などの訪日観光客への展開なども視野に入れて、既存の事業において、今後の展開を検討していく。
1 37 36 77 3 21	□ 事業の見直しなし	

VⅢ 予算反映結果	VIII	予	算	反	映	結	果
-----------	------	---	---	---	---	---	---

予算反映結果	□ 現状維持	☑ 廃止/休止	口 予算拡充		□ 予算縮減			
了异众吹帽木	□ 他事業を統合	(統合事業名:)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 今和4年度事務事業評価シート | 事業属性

事業名	海の京都D	MO事業									事業コード	230344		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	:りが、時代の変化	化を先取りし、地	域産	業の発展に	貢献できるまち		政策目標	2 DXを	生かした商	業・サービ	ス業の活性化	;
以来评示	施策名	2 市の特質を踏	沓まえたキラリとき	光る観光戦略の持	推進			•			施策コード	822		
事業担当	所属	25050000 産業政	汝策部 産業観光	忙 課					所属長	山田 信	義			
会計情報	款	07 商工費	項 01	商工費	目		03 観光費		会計 0	一般会計	決算 位	付属資料	182	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関	連計画名					R	4現在の状況	継続中	1
根拠法令等														
事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府補助事業	□ 市単独	事業	□ 内部	『庶務的事業)他 (府∙市)
関連事業	森の京都D	MO事業					•		•					

爭某基礎情	報								
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府北部(福知山市・宮津性化と観光振興を資する事業		ラ・綾部市・伊根⊞	丁•与謝野旺	町)を「海の京	都」と位置付け、全国有数	(の競争力ある観光圏	となることを目的には	地域活
対象者	観光入込客				対象者数	594,167	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	≧管理 □	補助金交	付	その他 (負担金	支出)
委託先·実施主体等	海の京都DMO								
事業概要 (箇条書き)	一般社団法人京都府北部地海の京都が実施する主な事・情報発信、プロモーション、 ・旅行商品造成・販売促進、	業 マーケティング調査			負担金				
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)				主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	11,116	負担金						
主な支出に係る									
業務内容と経費									

Ⅲ 予算執行状況

		区分		R2(評価前	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			11,419			11,116			11,106			11,132
予	2	補正予算			0			0			0			0
予算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小言	th(1)~(3)			11,419			11,116			11,106			11,132
予	1	一般財源			0			0			0			0
算		国支出金			4,114			3,986			3,982			3,992
算財源内		府支出金			0			0			0			0
内訳		地方債			0			0			0			0
D/\	⑤				7,305			7,130			7,124			7,140
決	-	流充用額			0			0						
算	-	配当予算			11,419			11,116						
決算情報	3	執行額			10,990			11,116						
		執行率			96.2%			100.0%						
人概	_	従事職員数 正職員 / 非常動嚷託職員)	0.50	/	0.00	0.25	/	0.00	0.25	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			4,000			2,000			2,000			0
		タルコスト _{行額+概算人件費)}			14,990			13,116			2,000			0
				海の京都D	MO事業(地方創生拍	推進交付金)		商工費国庫補助]金		3,98	36	18	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	海の京都D	MO事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	7,13	30 決算付属資料	38	頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	特産品販売額		千円	906	/	2000	2142	/	2000	2227	/	2000	/	2000	2000
活動実績(アウトプット)		単位あたり〓	スト		12.5			5.1			5.0				
実績/計画					/		41	/			/		/		海の京都DMO事業
		単位あたり〓	スト												

		事業担当所属内による自己評価) 		施策•施策成果指標
項	B	評価の観点 	評価の観点に寄与した取組事項	に対する貢献度
		・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	CRMシステムを活用した宿泊、飲食等に利用できるクーポンの発行を季節ごとに行い、多くの市内事業者が参加したことで、本市での消費につながった。 あわせて旅行者動向にかかる分析も行った。スケールを活かした情報発信及びエリア全	
必要	医性	・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	体の旅行者動向を把握することは、DMOだからこそできる取り組みである。	
		・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
		・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	旅行者は自治体単位ではなく、市町、府県をまたいだエリアで観光しているため、広域圏域のプロモーション活動などにおいて、DMOに参画していることは大きなメリットである。 英・仏の旅行会社とパートナーシップ協定を締結して、商談会を行った。インバウンドプロ	□ やや高い
効 琫	性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	モーションは、北部エリア一体となって行うことで、インバウンドからの関心を効率的に得られている。	□ やや低い
		・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□低い
		・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	観光庁の事業採択を受けて実施した「JRとの貨客混載実証」に市内の農家が参加し、京都駅地下街でのマルシェで販売を行い、新たな域内連携の促進を図った。 ECサイトを活用した特産品販売を行っており、コロナ禍で現地訪問が難しい中でも事業者	
有效	地	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	の販路を確保することができた。	
		・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的 含めた自 及び現状	己評価	コロナ禍で変動した観光ニーズを把握するためのフォームを活用して、誘客に向けたプロモーション	情報発信等) 用したマーケティング調査) 農宿のPR、農宿プロモーション動画作成) 診を受けたため、目標とするツアー取扱額や飲食宿泊等キャンペーン取扱額には達しなかった マーケティング調査を行い、アフターコロナに向けた基盤整備を行うことができた。令和4年原 を行う必要がある。	
改善	兼	CRMを活用したクーポンキャンペーンでは市内の	5顧客情報を活用し、海の京都エリアへの誘客や消費拡大に努めていく。 参加店を増やすことで消費額増加を図るとともに、体験、周遊観光事業については、市内で ぶム協議会と連携することで、福知山への誘客にもつなげていく。	体験型観光コンテンツ

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	関係団体と連携し、海の京都エリアへの誘客や消費拡大に努めていく。
r Je sanje	☑ 事業の見直しなし	

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	☑ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	口 予算縮減			
了异众吹帽木	□ 他事業を統合	(統合事業名: —		□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート | 事業属性

(単位:千円)

•																			
	事業名	森の京都D	MO事業											事業コー	ード	230345			
	政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	りが	、時代の変化	化を先取りし、地	域産	E業の発展に	貢献できるまち		政策目	標	2 DXを	生かし	た商業	業・サーヒ	ごス業	の活性化	
	以来评求	施策名	2 市の特質を設	当まえ	たキラリと	光る観光戦略の排	隹進							施策コー	ード	822			
	事業担当	所属	25050000 産業	女策部	部 産業観光						所属	툿	山田 信	義					
	会計情報	款	07 商工費	項	01	商工費	目		03 観光費		会計	01	一般会計	決	算付原	属資料		182	頁
	計画期間	開始年度	平成28年度	終	了予定年度	令和8年度	B	J連計画名							R4‡	見在の状態	況	継続中	
1	根拠法令等																		
	事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府	補助事業	□ 市単独	事業	口内部	部庶務的事業		他	(序	す・市	調整実施	5)
	関連事業	<u>海の京都D</u>	MO事業																
II	事業基礎情	郵				•				•	•								

爭業基礎情	榖								
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	京都府中部地域(福知山市、 い、地域外の人々に魅力を勢						アの認知度向上と地域	住民自らが地域を	誇りに思
対象者	観光入込客				対象者数	594,167	単位あたりコスト	0.0	
実施方法	□ 直接実施 □ 業務	務委託 □ 指定	官管理 口補	助金交值	寸 ☑	その他 (負担金式	₹出)
委託先·実施主体等	森の京都DMO								
事業概要 (箇条書き)	一般社団法人森の京都地域森の京都が実施する主な事・ローカルガイド講座・着地型旅行造成・販売・マーケティング調査、観光地	*							
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)				主な業務内容			
	負担金補助及び交付金	8,915	負担金						
主な支出に係る									
業務内容と経費									
		i	İ						

Ⅲ 予算執行状況

1111	D	了 异 N 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		R2(評価前年	: r i er \		R3(評価年	帝)		R4(本年月	₽)	D5/車:	求年度)		
	(1)			八之 (9,118		173(計画十			N4(4×4-8	8.952	NO (35)	小十尺 /	0.060	
_	_							8,915			•			8,960	
予算	_				0			0			0			0	
算情報	(3)	繰越予算			0			0			0			0	
鞭		前年度繰越			0			0			0			0	
		次年度繰越			0			0			0			0	
		+(1)~(3)			9,118			8,915			8,952			8,960	
予	1				0			0			0			0	
算 財源	2	国支出金			3,320			3,216			3,229			3,232	
源	3	府支出金			0			0			0				
内訳	4	地方債			0			0			0			0	
76	⑤	その他特財			5,798			5,699			5,723			5,728	
2h	1	流充用額			0			0							
算	2	配当予算			9,118			8,915							
決算情報	3	執行額			8,876			8,915							
	4	執行率			97.3%			100.0%							
人概	1	従事職員数 E職員/非常動嘱託職員)	0.55	/	0.00	0.35	/	0.00	0.35	/	0.00	0.00	/ 0	0.00	
工算	2	概算人件費			4,400			2,800			2,800			0	
		タルコスト 行額+概算人件費)			13,276			11,715			2,800			0	
				森の京都DM	O事業(地方創生推	進進交付金)		商工費国庫補助	金		3,21	6	20		
		以利用特財 年度実績値)	特財名称	森の京都DM	O事業基金繰入		種類	基金繰入金		実績金額	5,69	9 決算付属資料	40	頁	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	観光プロモーショ	ョン等		3	/	8	2	/	8	5	/	3	/	3	8
活動実績(アウトプット)		単位あたりコ	スト	;	3041.3			4438.0			1783.0				
実績/計画					/		43	/			/		/		森の京都DMO事業
		単位あたり〓	コスト												

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することの できない事業か	「福知山城とスイーツ巡り」、「鬼伝説を巡る」をテーマにしたオンラインバスツアーを実施し、定員を上回る参加者があった。コロナにより現地訪問が難しい中、地元特産品を事前に発送することで旅前の企画として好評だった。そのほか、森の京都QRトレイン(ラッピング列車)の福知山行き限定ツアーを催行するなど、旅行会社とのネットワークを有するDMOだからそこできる取り組みを実施した。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	旅行者は自治体単位ではなく、市町、府県をまたいだエリアで観光しているため、広域圏域のプロモーション活動などにおいて、DMOに参画していることは大きなメリットである。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	「森の京都QRトレインツアー」では、福知山に到着した観光客に楽しんでもらうため、観光 ガイドによるまち歩きツアーや茶筒作り体験などのオブション企画を用意することで地域で の消費を促したほか、観光案内所で使用できる割引券を進呈し、幅広い事業者に還元さ れる取り組みも実施した。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	れる取り組みて夫他した。	
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	・カーシェアリング推進(カーシェアステーション(・プロモーション 等	進(海の京都DMOと連携したアドベンチャーツーリズム) D設置) を受けたため、目標とするツアー商品の集客数には及ばなかったが、御城印のブームを受り	けて物販販売額が目標
改善策		る顧客情報を活用し、森の京都エリアへの誘客や消費拡大に努めていく。 を行っているサードプレイスツーリズム協議会の事業と連携することで、福知山への誘客にギ	もつなげていく。
Ⅵ 二次評価(3	事業所属外による他部署評価)		
		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
la vi en o	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	関係団体と連携し、森の京都エリアへの誘客や消費拡大に努めていく。
了开女小刀到	☑ 事業の見直しなし	

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	☑ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減			
了异及吹相木	□ 他事業を統合	(統合事業名: —)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性																			
事業名	福知山城憩	いの広場(ゆらの	Dガー	-デン) 管理事	丰業									事	業コード	310202			
政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	とりが、	、時代の変化	Lを先I	取りし、地均	域盾	産業の発展に	貢献でき	きるまち	5	政策目	標 2	DXを生	かした商	業・サー	ビス業の	の活性化	
以来许尔	施策名	2 市の特質を置	踏まえ	たキラリと光	亡る観か	光戦略の推	推進							施	策コード	822			
事業担当	所属	25050000 産業i	政策部	部 産業観光	課							所属	長煮	第田 成章					
会計情報	款	07 商工費	項	01 ह	商工費	Ì	目	0:	2 商工業	振興費	貴	会計	01 -	一般会計	決算作	才属資料	1	76	頁
計画期間	開始年度	平成24年度	終.	了予定年度	令和	08年度	E.	関連計画名	福知山	市中心	心市街地活情	生化基本	計画		R	4現在の状	決況	継続中	ı
根拠法令等	福知山城憩	いの広場条例、	福知山	山城憩いの戊	広場条	例施行規則	則												
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府	F補助事業	V	↑市単独署	事業	美 口内:	部庶務的	事業	□ その	他	()
関連事業																			
事業基礎情	 報																		
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)]辺の賑わい創出 づくり株式会社、																	
対象者	観光客及び	市民							対象者数	数	946,6	618		単位あた	りコスト		0.0)	
実施方法	☑ 直接実	施 🛭 業和	務委 訂	ŧ 🗆 i	指定管	理	Ø	補助金交付	t	□ ₹	その他	()
委託先·実施主体等	㈱赤井土木	、(公社)福知山シ	ンルバ	バー人材セング	ター、ネ	福知山ガー	ーデ	ニングサーク	フルゆらタ	, o									
事業概要 (箇条書き)		憩いの広場(ゆら 型の維持管理を₹								業務委	亲託								
	支出に係	系る主な費目	支	出実績(R3))						主な	な業務内	容						
	需用費			6	675 消	耗品の購	入、	光熱水費											
主な支出に係る	役務費			1	154 ご	み廃棄手	数米	4、水質検査	手数料										
業務内容と経費	委託料			2,1	135 機	械警備、村	直栽	战∙芝生維持铊	管理業務	、日常	清掃等維持	持管理業	務						

47 芝生管理用機器の賃借

450 ガーデニングサークル運営交付金

Ⅲ 予算執行状況

使用料及び賃借料

負担金補助及び交付金

	į	<u>7 并 税 17 1八</u> Z 分		R2(評価前年度	<u>(</u>)		R3(評価年	度)		R4(本年)	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			3,811			3,820			3,999			4,376
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小	H(1)~(3)			3,811			3,820			3,999			4,376
予	1	1207171112			3,361			2,995			2,797			2,822
算	_	国支出金			0			0			0			0
財源	3				0			0			0			0
内訳	_	地方債			0			0			0			0
B/C	(5)	その他特財			450			825			1,202			1,554
8h	1	流充用額			0			△ 359						
決算	2	配当予算			3,811			3,461						
惰報	3	執行額			3,456			3,461						
		執行率			90.7%			100.0%						
人概		従事職員数 (正職員 / 非常動嚷託職員)	0.20	/	0.00	0.36	/	0.00	0.36	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			1,600			2,880			2,880			0
		タルコスト _{行額+概算人件費)}			5,056			6,341			2,880			0
				電柱等占用料				商工使用料				60	10	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	福知山城憩いの)広場使用料		種類	商工使用料		実績金額	7	59 決算付属資料	10	頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	来場者数		人	166906	/	140000	129800	/	140000	129143	/	140000	/	140000	140000
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	ガーデニングサー	クル活動参加人数	人	217	/	220	128	/	220	140	/	220	/	220	220
(アウトプット)		単位あたり=	スト		18.6			27.0			24.7				
実績/計画	広場利用回数			9	/	12	45 ⁰	/	12	1	/ 福	知此城	憩いの広場	(ゆ場の	ガーデン ^{1,2} 管理事業
		単位あたり〓	スト		447.3						3461.0				

	評価の観点 	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた ・民間事業者や市民が自ら実施するこできない事業か	街地への回遊の拠点として、福知山市の魅力向上につながる必要不可欠な事業である。 年間を通じて植栽管理業者による維持管理、シルバー人材センターによる日常清掃及び 月1回のガーデニングサークル活動を実施し、市民や来街者の憩いの場をとしての魅力向	
	・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	上に努めた。特に、大河ドラマの効果による観光客の増加を見込み、光秀をモチーフとしたリースの作成や花の充実等を行い、広場の魅力向上を図った。	□高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	官民協働で維持管理を行うことで効率的に事業が実施できている。市民参加のガーデニングサークルと協働で実施することにより大幅なコスト削減ができている。	☑ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	場、福知山城周辺の賑わい創出施設、中心市街地への回遊拠点として当施設の維持・管理を行うことに加え、市民のサークル活動の場となっており有効な事業である。コロナ禍に	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	よりガーデニングサークル活動への参加自粛傾向が見られた。また広場の利用回数も1回 だけであった。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用に十分行われたか	は が実施され、適切な維持管理が図れている。また、市民参加のガーデニングサークルとの協働により、広	18 5 4 6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	いく必要がある。	の来場者が減少していると分析する。広場を活用したイベントの実施回数を増やし、市民や近隣市町カ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
改善策	出占者協議会や福知山まちつくり株式	t会社と連携し、PR、イベントを行うことにより、観光客だけでなく、市民や近隣市町からの誘客促進を図]っていく。
	出店者協議会や福知山まちづくり株式事業所属外による他部署評		つてい く。
/ 二次評価(3		(価)	つてい く。
VI 二次評価(3 事後評価コメント	事業所属外による他部署評		つてい く。
VI 二次評価(3 事後評価コメント	事業所属外による他部署評	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	つていく。
√ 二次評価(3 事後評価コメント	事業所属外による他部署評 た次年度事業方針 方針区分	(価)	つてい く。
√ 二次評価(3 事後評価コメント	事業所属外による他部署評 上た次年度事業方針 方針区分 □ 事業の見直し	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	つてい く。
VI 二次評価(¾ 事後評価コメント √II 評価をふまえ	事業所属外による他部署評 た次年度事業方針 方針区分 □ 事業の見直し □ 統合/組換	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	☑ 予算拡充	□ 予算縮減			
了异众吹帽不	□ 他事業を統合	(統合事業名: —) □ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

福知山市	了令	和 4	年度事	務事	,	業評	価シ	· - }	•				(単位:	千円)
事業属性														
事業名	城下町福知	山・まち歩き観光	光促進事業								事業コ-	ード 310226		
政策体系	基本政策	8 市民一人ひる	とりが、時代の変化	を先取りし、地	域層	[業の発展]	貢献できるま	きち	政策目標	票 2 DX	を生かした	た商業・サー	ビス業の活性化	化
以果件术	施策名	2 市の特質を	踏まえたキラリと光	る観光戦略の	推進			,	-		施策コー	ード 822		
事業担当	所属	25050000 産業	政策部 産業観光	課					所属長	森田月	戊章			
会計情報	款(07 商工費	項 01 7	有工費	目	C	2 商工業振興	費	会計	01 一般会	:計 決	算付属資料	178	頁
計画期間	開始年度	平成27年度	終了予定年度	令和8年度	B	J連計画名	_					R4現在の状	:況 継続	中
根拠法令等														
事業区分	□ 法定受	託事務 🗆	国府補助事業	☑ 市単独	事業		部庶務的事業	削し その)他	()
関連事業	福知山パー	·キング管理事業												
事業基礎情	報													
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)			でもある広小路界限 一定時間無料化す											
対象者	観光客及び	市民					対象者数	946,	618	単位な	あたりコス	1	0.0	
実施方法	□ 直接実	施 □ 業	務委託 口 :	旨定管理		補助金交付	†	その他	(負担	金交付)
委託先·実施主体等	福知山まち	づくり株式会社												
事業概要 (箇条書き)	駐車料金の	最初の30分を無	バ運営する御霊公覧 ₹料化するための紀 市50円(5/10)・ま	費のうち、市だ) 1/2	2(5/10)、福	知山まちづく							
	支出に	系る主な費目	支出実績(R3)					主	な業務内容	字				
	負担金補助	及び交付金	5	39 城下町福知	nщ·	まち歩き観	光促進事業負	担金						
主な支出に係る 業務内容と経費														

Ⅲ 予算執行状況

	2	了 异 教 1 1 1 1 N		R2(評価前年	EBE)		R3(評価年	康)		R4(本年	E)	P5(車:	求年度)	
	(1)			142 (87 1941 1947	965		1/0/BTIM-T	684		11717776	696	110(32)	Т Д/	0
	_	補正予算			0			004			030			0
	_	繰越予算			0			0			0			0
算情報	9	前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			n
	/\=	t+(1)~(3)			965			684			696			0
					903			004			090			0
予	_	国支出金			0			0			0			0
予算財源		府支出金			482			342			348			0
源内		地方債			0			0			0			0
訳	_				482			342			348			0
	1	流充用額			0			0			348			U
	_	配当予算			965			684						
	_													
	-	執行額			709			539						
		執行率			73.5%			78.8%						
人概	(I)	従事職員数 E職員/非常動螺託職員)	0.07	/	0.00	0.21	/	0.00	0.21	/	0.00	0.00	/ 0	.00
一	2	概算人件費			560			1,680			1,680			0
(予算	算執	タルコスト 行額+概算人件費)			1,269			2,219			1,680			0
		erente e l		城下町福知山	・まち歩き観光促進事	業基金繰入		基金繰入金			46	61	38	
(N	主な 一 1	は利用特財 年度実績値)	特財名称			種類				実績金額		決算付属資料		頁

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	広小路通り歩行	者自転車通行量	人	533	/	900	776	/	917	705	/	917	/	917	917
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	パーキング利用	l台数	台	40924	/	42000	29913	/	41000	25730	/	41000	/	41000	41000
(アウトプット)		単位あたり=	スト		0.0			0.0			0.0				
実績/計画	まち歩き事業利	用率	%	36	/	40	49 47	/	40	44	/	40	城下町福知	山 ⁴⁰ ま	ち歩き観光促進事業
		単位あたり二	コスト		19.0			14.5			12.3	•			

評価の観点

項目

	HT IM V FOL M		に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた ・民間事業者や市民が自ら実施するこできない事業か	性化につながる。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	利害関係者である福知山まちづくり株式会社及び協力店舗に一部負担を求める形で協力を仰ぎ、市の負担の減少につながっている。H30年度5月から事業の実施形態を変更し、他のステークホルダーにも負担を求めることで、市の単独負担を是正した。さらに、無料券の発行を店舗で行うようにしたことで、本制度の利用率や利用者がどこを訪れたのかが確	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	認できるようになり、効果的な事業の実施や検証につながる形で実施できている。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切 把握・測定されているか	別に まちづくり会社による参加店舗数維持の取り組み及び参加店舗を巻き込んだ制度の広報 活動により、利用率は44%と高い水準であり、官民連携により中心市街地への誘客を図る ことができている。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・ 先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか	は 登源、景観資源および商店街等、福知山市の魅力が集積する広小路界隈への来訪者増加を図ることで	
定性的な面も 含めた自己評価 及び現状の課題	出や商業の活性化につなげることがで	できている。 の歩行者自転車通行量は目標値には及ばなかった。また、飲食店等の休業や時短営業等により、まち	
改善策	協力店舗数の維持向上および市民・ 機会の増加を図る。	現光客双方へ事業内容の周知に努め、利用促進を図るとともに、まちづくり会社や商店街と連携してイ ク	ベント等を実施して利用
VI 二次評価(基	事業所属外による他部署評	² 価)	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
学体計画コメント		李朱祥伽夫施伎に記載(対象争来のみ)	
────────────────────────────────────	た次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた目前 内窓	

評価の観点に寄与した取組事項

施策・施策成果指標に対する貢献度

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
17 W 28 0	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	☑ 統合/組換	R4年度はコロナ禍による制限が緩和され、まち歩き利用台数はR元年度と同程度まで回復、協力店舗数の維持しており、一時
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	駐車台数に占めるまち歩き利用率は42%とR元年度比で7ポイント上昇している。引き続き、御霊公園など中心市街地の回遊を 促進しまちなか観光の促進、まちなかの活性化を図っていくことが必要である。中心市街地に人を呼び込む施策として統一的に
1 37 24 77 21	□ 事業の見直しなし	行うため、「まちなか賑わい推進事業」に統合し、同内容の施策を継続する。

Ⅷ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	□ 廃止/休止	□ 予算拡充	□ 予算縮減			
了异众吹和米	□ 他事業を統合	(統合事業名: —)	☑ 他事業へ統合	(統合先事業名:	まちなか賑わい推進事業)

福知山市 今和4年度事務事業評価シート

(単位:千円)

ı	于木尚江																		
	事業名	(仮称)福知	1山鉄道館ポッポ	ラン	*建設事業								事業:	コード	310258				
	政策体系	基本政策	8 市民一人ひと	こりカ	、時代の変	化を先取りし、地	域	産業の発展に	貢献できるまち		政策目標	票 2 DX	を生かし	した商 う	巣・サービ	ス業の活性化	í		
	以来许尔	施策名	2 市の特質を	当ま.	えたキラリと	光る観光戦略の	推進	<u></u>				•	DXを生かした商業・サービス業の活性化 施策コード 822 引 成章 股会計 決算付属資料 178 R4現在の状況 継続中						
	事業担当	所属	25050000 産業	政策	部 産業観決	 注					所属長	森田	成章						
	会計情報	款	07 商工費 項 01 商工費 目 02 商工業振興費 会計 01 一般会計 決算付属資料 178													頁			
	計画期間	開始年度	令和元年度	終	了予定年度	令和8年度		関連計画名						R43	現在の状況	継続中	7		
:	根拠法令等																		
	事業区分	□ 法定受	託事務 ☑	国府	守補助事業	□ 市単独	事	業 口内部	部庶務的事業	□ その	D他	()		
	関連事業																		
Ш	事業基礎情	報			·										· <u> </u>				
		独送のまた	の麻中継承及び	細北	:話安の切占	レーア(仮称)垣4	nılı	4年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10年 10	ニヽボた神艶する	ξ.									

11 1 1/2 1/4	1170														
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	鉄道のまちの歴史継承及び	観光誘客の拠点とし ⁻	て(仮称)福知山鉄道館	ポッポランドを建設	けする。										
対象者	市民及び観光客			対象者数	619,203	単位あたりコスト	0.1								
実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業務	務委託 □ 指定	€管理 □ 補助	金交付 口	その他 ()								
委託先·実施主体等	公益社団法人京都公共嘱託	登記士土地家屋調査	於士協会、浦野設計株	式会社、株式会社	サンワコン、株式会社国コ	上開発センター									
事業概要 (箇条書き)	・新築工事に伴う設計業務・建設予定地地質調査業務														
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容										
	役務費	313	省エネ適合性判定申	請手数料、建築確	認申請手数料、										
主な支出に係る	委託料	39,415	体験型コンテンツ制作	におけるソフトウェ	ア開発及び監修、ポッポー	ランド新築工事に係る	設計業務、地質調査								
業務内容と経費	補償、補填及び賠償金	3,839	下水道管路移設実施	設計に伴う補償金											

Ⅲ 予算執行状況

	2	3 分		R2(評価前	竹年度)		R3(評価年	度)		R4(本年)	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			37,877			44,950			0			0
予	2	補正予算			100,000			320,216			0			0
算情	3	繰越予算			△ 35,451			△ 290,416			325,867			0
報		前年度繰越			0			35,451			325,867			0
		次年度繰越			△ 35,451			△ 325,867			0)		
	小言	†(1)~ 3)			102,426			74,750			325,867	'		
予	1				0			21,513			5,741			0
算		国支出金			0			17,500			155,108			0
算財源内		府支出金			0			0			0			0
内訳	-	地方債			0			0			163,600			
D/\	(5)	その他特財			102,426			35,737			1,418			0
*	_	流充用額			0			△ 122						
算	2	配当予算			102,426			74,628						
決算情報	3	執行額			102,412			43,567						
		執行率			100.0%			58.4%						
人概		従事職員数 E職員/非常動爆託職員)	0.70	/	0.00	1.25	/	0.00	1.25	/	0.00	0.00	/ 0.	.00
工算	2	概算人件費			5,600			10,000			10,000			0
		タルコスト 行額+概算人件費)			108,012			53,567			10,000			0
		er materi		(仮称)福知 域連携交付	山鉄道館ポッポランド建設: 金)	事業(きょうと地		商工費府補助金	•		3,8	19	28	
		以利用特財 年度実績値)	特財名称	福知山鉄道館7	ポッポランド(仮称)整備事業等	线田基金繰入金	種類	基金繰入金		実績金額	1,89	99 決算付属資料	40	頁

成里宝練	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
成果実績(アウトカム)	設計完成		回	0	/	0	0	/	1	1	/	1	- /	-	1
実績/目標	建物完成		回	-	/	0	-	/	0	_	/	0	/	1	1
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動室籍	関係者協議回数	ţ	回	0	/	0	8	/	10	19	/	10	/	10	10
活動実績(アウトプット)		単位あたり	スト					12801.5			2293.0				
実績/計画					/		49	/			/	(仮	称)福知山翁	道館ポ	ッポランド建設事業
		単位あたりコ	スト												

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	「福知山鉄道館ポッポランド1号館の早期開設を求める請願」(平成29年度)の採択、福知山鉄道館ポッポランドあり方検討委員会での移設再開に関する提言提出(平成30年度)、個人の篤志家からの負担付寄附が議会で承認されるなど、市民や社会のニーズが高く、	
必 要 性	・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	優先度の高い事業である。 令和3年度において、詳細設計が完了。国の地方創生拠点整備交付金への申請を行い、 採択を得た。	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	民間及び大学等への業務委託を行うなど、専門的な知見の活用及び経費抑制等による効率化を図っている。	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切に 把握・測定されているか	令和4年度中の建物完成に向けて、令和3年度中の設計完成は理にかなっている。 関係者から意見をいただきながら設計を進めており、また、民間及び大学等への業務委託 を行うなどにより専門的な知見の活用を図っている。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか	類似施設の視察等を通じて、運営手法及びコストの比較、財政シミュレーションによる分析等を行った。	
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか		
	容を基に検討を進めてきたが、建設場所等につい	民の皆様に情報発信をし、周知を図ってきたところであり、「福知山鉄道館ポッポランドありた いては、条件が付された負担付寄附であるため、パブリックコメントの実施等を行うことはでき にあたっては、市民の皆様の意見や提案をお聞きしながら検討していくことが課題。	
	成が同日で建名での正画版がです。シーの天旭	にめたりては、市民の自体の心元で提来との間でしなかり表前していてこれが展認。	
定性的な面も 含めた自己評価			
及び現状の課題			
		ては、具体的かつ迅速に決定させていくことが多いが、可能な限り市民や関係者の意見を聞 や運営での企画展示やイベントの実施等について話し合う。	1く機会特に、関係団体
改善策			
4 6 <i>x</i>			
VI 二次評価(₹	事業所属外による他部署評価)		
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
	た次任府東娄方針		

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
in w iii o	□ 事業の見直し	
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換	
及び 予算要求方針	□ 廃止/休止	令和5年度に開館後は、運営事業として施設維持管理・企画実施等に係る費用を計上するため。
I M & W/J PI	☑ 事業の見直しなし	

VⅢ 予算反映結果

予算反映結果	□ 現状維持	☑ 廃止/休止	□ 予算拡充		□ 予算縮減			
了开及吹帽木	□ 他事業を統合	(統合事業名: —)	□ 他事業へ統合	(統合先事業名:	_)

稻	お シント 事業属性	令和4	年度事	務事	業評估	あシー	1			(単位:千円)					
	事業名	福知山城公園観光駐車場	等 理運營車業					車:	業コード 650312						
	于 未口	基本政策 8 市民一人び		を失取り 地域商	*************************************	計できるまた	政策目標		いした商業・サービ	フ業の活性化					
	政策体系		・踏まえたキラリと光・			W (5.02)	以火口1示		表コード 822	八来の石圧化					
	事業担当		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		所属長	山田信義	K = 1° 022						
	会計情報	款 07 商工費		<u>*</u> j工費 目	0.0		***************************************)1 一般会計	決算付属資料	182 頁					
	計画期間	開始年度 平成15年度	終了予定年度		月連計画名 関連計画名	,就儿真	A II 0	71 放云山	R4現在の状況						
	根拠法令等	州如平及 一	松丁了是千度	7140千尺	利廷計四 石				代4現在の状況	1 种型物质中					
	事業区分		2 图点特别表表			- 75 仏 吉 米 - ロ - 2	O /th /			`					
	サポムガ 関連事業	┃□ 法定受託事務 □] 国府補助事業	☑ 市単独事業	□ 内部庶	「務的事果 □ 1	の他()					
		<u></u>													
	事業基礎情	 福知山城やゆらのガーデンをはじめ、市内の観光施設を自家用車や大型バスで訪れる観光客に対して、安心安全な駐車場を提供することで、満足度向上を図る。													
	事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)														
	対象者	観光客及び市民(福知山城	ι、美術館及びゆらσ	ガーデン利用者)	対象	東者数 20)2,828	単位あたり	コスト	0.0					
	実施方法	☑ 直接実施 ☑ 業	務委託 □ 指	定管理 🗆	補助金交付	□ その他	()					
委	託先·実施主体等	公益社団法人福知山市シ	ルバー人材センター	株式会社フォール	レズ										
	事業概要 (箇条書き)	〇福知山城公園観光駐車 〇駐車場内のトイレの維持		、修繕等)											
		支出に係る主な費目	支出実績(R3)				主な業務内容								
		需用費	46	8 水道代、電気代											
	主な支出に係る	役務費	16	5 ごみ廃棄手数米											
3	業務内容と経費	委託料	4,04	19 業務委託費											
Ш	予算執行状	況													
	区分	R2(評価前年月	E)	R3(評価年	度)	R4(本年度)		R5(要求	年度)					
	① 当初予算		1,878		6,477	7		5,781		49,750					
予	② 補正予算		0		C			0		0					
算	③ 繰越予算		0		C			0		0					

		区分		R2(評価前4	年度)		R3(評価年	度)		R4(本年月	E)	R5(要:	求年度)	
	1	当初予算			1,878			6,477			5,781			49,750
予	2	補正予算			0			0			0			0
算情報	3	繰越予算			0			0			0			0
報		前年度繰越			0			0			0			0
		次年度繰越			0			0			0			0
	小	計(① ~ ③)			1,878			6,477			5,781			49,750
予	1	一般財源			200			3,422			2,915			27,683
算 財源	2	国支出金			0			0			0			0
源	_	府支出金			0			0			0			0
内訳	_	地方債			0			0			0			19,200
- IV	+	その他特財			1,678			3,055			2,866			2,867
決	-	流充用額			4			Δ 1,100						
決算	-	配当予算			1,882			5,377						
惰報	3	執行額			1,636			4,682						
		執行率			86.9%			87.1%						
人概	_	従事職員数 (正職員 / 非常動爆託職員)	0.15	/	0.00	0.16	/	0.00	0.16	/	0.00	0.00	/	0.00
工算	2	概算人件費			1,200			1,280			1,280			0
		タルコスト l行額+概算人件費)			2,836			5,962			1,280			0
				福知山城天	守閣入館料等			総務使用料			3,93	7	8	
		な利用特財 1年度実績値)	特財名称	電柱等占用	料		種類	商工使用料		実績金額		1 決算付属資料	10	頁
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		不用品売却				雑入				1	48	

成果実績	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
(アウトカム)	観光入込客数		人	1116577	/	942000	892414	/	942000	594167	/	942000	/	942000	942000
実績/目標	福知山城入館者	首数	人	75246	/	50000	109189	/	50000	53445	/	60000	/	60000	60000
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動実績	警備日数		日	6	/	3	0	/	0	101	/	118	/	123	120
(アウトプット)		単位あたりコ	スト		231.3						46.4				
実績/計画					/		51	/			/		福知山城公	園観光	駐車場管理運営事業
		単位あたり〓	コスト					•			,	·			

□ 事業の見直しなし

□ 廃止/休止

(統合事業名: —

□ 現状維持

□ 他事業を統合

VII 予算反映結果

予算反映結果

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指 に対する貢献度
	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事	本市への観光客の大半が自家用車で訪れており、主要観光スポットである福知山城、ゆ 事業か らのガーデンへの来訪者のために観光駐車場を提供することは、観光客の利便性及び満 足度向上に必要不可欠であり、優先度は高い。	
必要性	・民間事業者や市民が自ら実施することできない事業か	⊵ත 	
	・目的・目標の達成手段として適切で、 優先度の高い事業か		☑ 高い
	・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	駐車場の警備業務は入札で決定し、警備員1名あたりの単価契約とすることで最小限のコストになるよう努めた。 自家用車の駐車場が満車になった後は、バス駐車場の空き状況にあわせて臨機応変に	□ やや高い
効 率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか	誘導するなど効果的な運用を行っている。	□ やや低い
	・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか		□ 低い
	・成果目標は理にかない、実績は適切! 把握・測定されているか	新型コロナウイルスの影響により、観光入込客数、福知山城への入館者数は前年度を下回ったが、福知山城への来館者は多くが自家用車であるため、駐車場を運営することは観光客へのサービスとして非常に有効である。	
有 効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
	・先行事例の分析や外部資源の活用は 十分行われたか	ţ t	
		観光客やゆらのガーデン利用者への利便性向上につながっている。 安全に誘導を行っているが、駐車台数が70台と限られているため昼間を中心に満車になることがある。	0
改善策		増加が見込まれるほか、福知山城公園内に(仮称)福知山鉄道館ボッポランドの建設が予定されてい。 日は引き続き警備員を配置し、市役所駐車場を案内するなど混雑に対応していく。	ることから、さらなる
一二次評価(事業所属外による他部署評	価)	
事後評価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
/ 評価をふまえ	た次年度事業方針		
	方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
	☑ 事業の見直し		
石水調へ	₩ 事業の元直し		
担当課の 事業の見直し	□ 統合/組換		나~知火따=!!!
	□統合/組換	現光駐車場は福知山城の利用者等に向けて提供するものであり、引き続き、観光客の満足度向上に向 管理を行う。観光客の更なる満足度向上につなげるため、既存のトイレはバリアフリー化の工事を行う。	

□ 予算縮減

) □ 他事業へ統合

(統合先事業名: —

☑ 予算拡充

,	令和4	年度	事務事	業評例	あシ	- 1	•				(単位:千円)		
事業属性													
事業名	未来につなぐ櫻プロジェクト	事業							事業コード	530221			
政策体系	基本政策 8 市民一人ひと	を生かした商業・サービス業の活性化											
以来评示	施 策 名 2 市の特質を踏まえたキラリと光る観光戦略の推進 カ										施策コード 822		
事業担当	所属 35050000 建設交通部 都市·交通課 所属長 芦田 裕人												
会計情報	款 08 土木費	項 04	都市計画費	目 04 :	公園管理	費	会計	01 一般会	計 決算付	属資料	194 頁	1	
計画期間	開始年度 平成30年度	終了予定年度	专 令和4年度	関連計画名					R4	現在の状況	継続中		
根拠法令等													
事業区分	□ 法定受託事務 □	国府補助事業	본 ☑ 市単独	事業 □ 内部原	務的事業	E □ その)他	()		
関連事業	既設公園管理事業												
事業基礎情	 報												
事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	未来に向かってサクラを植ま 訪れる場所を創造していく。	我することでま <i>ち</i>	ちの魅力を高め、市	民の市への愛着と	誇りを育む	いとともに、知	名度アップ	プやイメーシ	の向上を図	り、市内外か	いらの観光客が		
対象者	市民及び観光等による本市	への来客数		対	象者数	1,000	,000	単位あ	うたりコスト		0.0		
実施方法	□ 直接実施 ☑ 業績	務委託 [] 指定管理	□ 補助金交付		その他	()		
委託先·実施主体等	㈱角木昭五園												
事業概要 (箇条書き)	卒業を迎える市内の6年生と協働し、三段池公園に桜の苗木を植樹する。												
	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主	な業務内	容					
	委託料	479 三段池公園	9 三段池公園桜苗木植樹業務										
主な支出に係る													
業務内容と経費												_	
												_	
111 we did no no no												_	
_ Ⅲ 予算執行状		, ,	D0/57	- (本)		D4/±	Ar de \			DE/面++	nde \		
① 当初予質	R2(評価前年度	600	R3(評値	四年度) 60(,	R4(本	干度)	600		R5(要求年		n	

111		了		R2(評価前年	F 度)		R3(評価年	度)		R4(本年原	E)	R5(要:	求年度)		
	1	当初予算			600			600			600			0	
予	2	補正予算	0					0			0	O			
算情報	3	繰越予算			0			0			0			0	
報		前年度繰越	前年度線越 0 次年度線越 0					0			0				
		次年度繰越						0			0				
	小言	小計(①~③)			600			600			600	C			
予	1	一般財源	0					0			0)			
算	2	国支出金	0					0			0	ו			
財源	3	府支出金	0					0			0	י י			
内訳	_	地方債	0					0			0	<u></u>			
76	(5)	その他特財	600					600			600	0			
čt.	1	流充用額	△ 108					△ 121							
決算情	2	配当予算	492					479							
情 報	3	執行額			492			479							
-	_	執行率			100.0%			100.0%							
人概	1	従事職員数 E職員/非常動爆託職員)	0.06	/	0.00	0.07	/	0.00	0.07	/	0.00	0.00	/ 0.	.00.	
工算	工算 ② 概算人件費 トータルコスト (予算執行額・概算人件費)				480			560			560			0	
卜 ·					972			1,039			560			0	
			未来につなぐ櫻プロジェクト事業を					基金繰入金	•			78	40		
(N		以利用特財 年度実績値)	特財名称				種類			実績金額		決算付属資料		頁	

成果実績	指	指標		R1		R2			R3			R4		最終目標	
(アウトカム)	定性的評価			0	/	0	0	/	0	0	/	0	/	0	0
実績/目標					/			/			/		/		
	指	標	単位		R1			R2			R3		R4		最終目標
活動電纜	サクラ苗木植栽	本数	本	30	/	30	20	/	30	24	/	30	/	30	140
活動実績(アウトプット)		単位あたり	スト		16.0			24.6			20.0				
実績/計画					/		53	/			/		未来に	つなぐ	櫻プロジェクト事業
		単位あたり	コスト		•	•		•							

______ Ⅷ 予算反映結果

予算反映結果

□ 現状維持

□ 他事業を統合

	項		評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
			・市民や社会のニーズを的確に捉え	・三段池公園には、1000本以上の桜が植栽され、春先には多くの公園利用者が花見を楽 た事業か ・桜の名所としてのさらに魅力を高めるため、桜の苗木の植樹する。	
	必	要 性	・民間事業者や市民が自ら実施する できない事業か	ことの	
		・目的・目標の達成手段として適切で 優先度の高い事業か		☑ 高い	
			・受益者との負担関係や単位あたり コストは妥当な水準か	・「郡上桜守の会」から寄贈された桜を植樹することで、苗木代の費用削減に努める。	□ やや高い
	効	率 性	・他の手段や方法とのコスト比較は 十分行われているか		□ やや低い
			・コスト削減や効率化に向けた工夫が 施されているか	•	□ 低い
			・成果目標は理にかない、実績は適り 把握・測定されているか	切に ・数年後には、多くの桜が成長し、桜の名所としての魅力をより高めることができる。 ・小学校6年生が卒業記念として、自ら公園に桜を植樹することで、シビックプライドの育成 に繋がる。	
	有	効 性	・活動実績は見込みに沿い、かつ 投入資源に見合っているか		
			・先行事例の分析や外部資源の活用 十分行われたか	ilit	
			・苗木の植樹であるため、成長するま	でに時間が必要である。	
	含めた	:的な面も ≿自己評価 見状の課題			
	改	善策	・令和4年度で事業が終わるが、緑化	と推進を目的とする団体等が主体となり、事業を引き継いでいくことができないか検討していく。	
	1 =	次評価(事業所属外による他部署部	平価)	
	事後言	平価コメント		事業評価実施後に記載(対象事業のみ)	
V		ア価をふま	えた次年度事業方針		
			方針区分	評価を踏まえた見直し内容	
	担	当課の	□ 事業の見直し		
	事業	コ の見直し 及び	□ 統合/組換		
		要求方針	☑ 廃止/休止 □ 事業の見直しなし	三段池公園の桜の植栽は完了したため、今後は、植樹した桜を守り育てる方向にシフトする。 	
			□ 学未の元担しなし		

□ 予算縮減

) 口 他事業へ統合

(統合先事業名: —

□ 予算拡充

☑ 廃止/休止

(統合事業名: —